

KINOLINE

紀伊國屋書店の提供する電子情報サービスの最新情報

vol.37, no.5 (September 2016)

1. EEBO 講演イベント開催！
NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム成立特別イベントにご参加ください。
2. 【OCLC News 第12号】 OCLCに関する様々な情報をお届けいたします。
3. 我が国最初のグラフ雑誌「風俗画報」と欧米の図版資料～起源・始まり～
4. 1842年創刊、世界初絵入り新聞 欧米の図版資料と「風俗画報」～起源・始まり～
5. 衛星画像、空撮画像データのご案内 世界中の地図情報・GISデータをお手元に
6. 文化人類学のフィールドワークの記録 文化人類学フィールドワーク・オンライン
7. アメリカ小説約17,750篇を掲載 American Fiction, 1774-1920
8. 東洋経済 DCL 大幅リニューアル

KINOLINE は Web 上でも閲覧できます。

KINOLINE

検索



Early English Books Online (EEBO)

初期英語書籍集成データベース

NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム成立 東京特別イベント開催

日 時: 2016 年 10 月 5 日(水) 13:00 – 17:00 (予定)

会 場: 一橋大学一橋講堂 中会議場1

(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 / 神保町駅 徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分)

参加費: 無 料

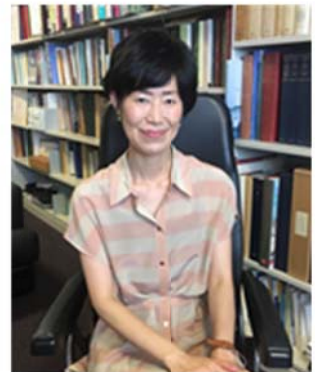
📍 基調講演「EEBO がもたらす情報革命／デジタル・デバイド」

慶應義塾大学文学部 徳永 聡子 准教授

[プロフィール] 慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程修了 (PhD)。中世英文学、書誌学、書物史を専門とし、写本から印刷本への移行期 (15 世紀～16 世紀前半) における英国の書物生産と作品受容を中心に研究している。とくに現在は、初期刊本の書誌情報と画像を格納・横断検索するためのデータベースの構築や、中世英文学作品の校訂版作成を共同研究で進めている。

英国ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・コレッジ客員研究員 (2010-11)、英国書誌学会 (The Bibliographical Society) Katharine F. Pantzer Jr Research Scholarship 共同受賞 (2011)、米国ハンティントン図書館 Gilbert and Ursula Farfel Fellow (2012) など。

[主要な業績] 'Wynkyn de Worde and a Lost Manuscript of the Canterbury Tales: With New Light on HRC MS 46', The Chaucer Review (2015); Incunabula on the Move: The Production, Circulation and Collection of Early Printed Books (2014), ed. by Ed Potten and Satoko Tokunaga; 『出版文化史の東西－原本を読む楽しみ』徳永聡子編 (慶應義塾大学出版会、2015); ロッテ・ヘリンガ著『初期イングランド印刷史－キャクストンと後継者たち』徳永聡子訳・高宮利行監修 (雄松堂書店、2013); 迫桂・徳永聡子『英語論文の書き方入門』 (慶應義塾大学出版会、2012) など。



📍 講演 1: 「NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム/ NII-REO 人文社会科学系コレクション構築について」 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課長 細川 聖二 氏

日本の学術研究の振興を目的に、国立情報学研究所 (NII) と大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) が共同で電子コレクションの整備に取り組むジョイントプロジェクトに、この度 ProQuest の EEBO が採択されました。NII よりコンソーシアムの意義と見通しをご講演頂きます。

📍 講演 2: 「Jisc (英国情報システム合同委員会) & ProQuest リサーチプロジェクト報告」

Farhana Hoque

ProQuest Product Manager Sr.

ProQuest 社英国の電子アーカイブ担当者より、Jisc と共同で行われた英国における電子アーカイブ利用調査の最新事情をご紹介します。(通訳付)

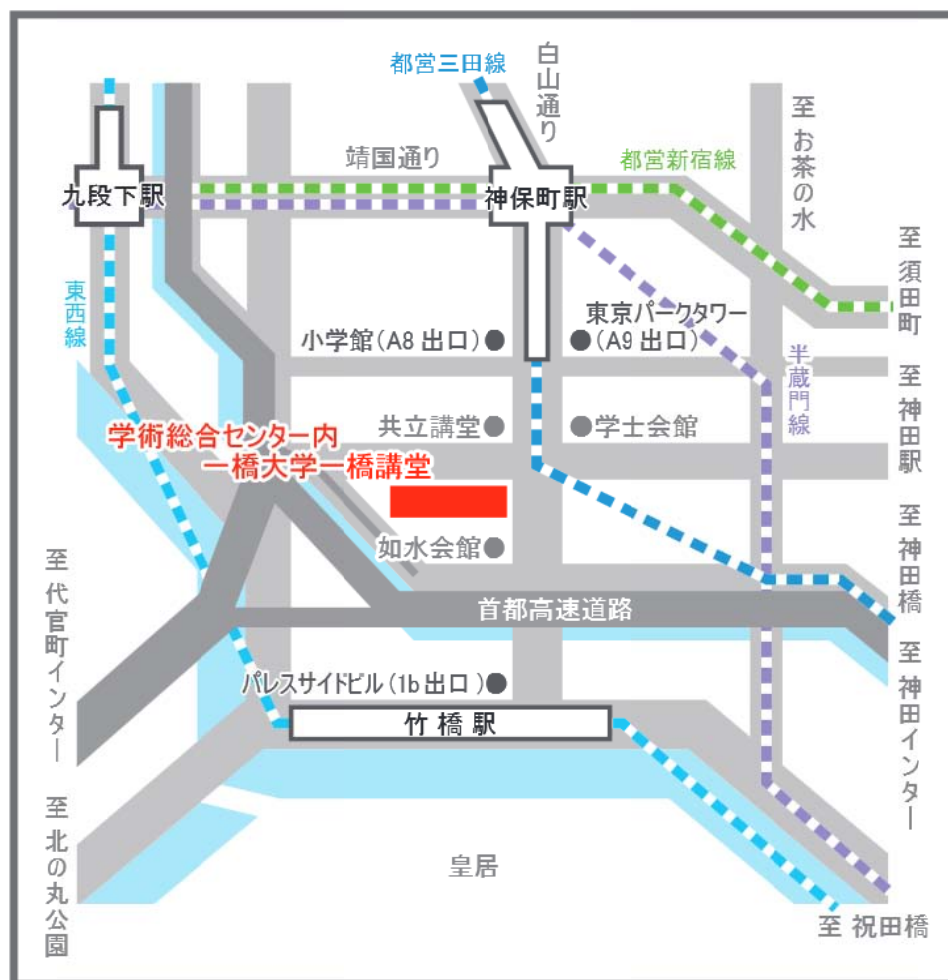
会場アクセス情報

一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

学術総合センター内

http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf



- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線：神保町(A9 出口) 徒歩 4 分
- 東京メトロ東西線：竹橋駅(1b 出口) 徒歩 4 分

このイベントに関するお問い合わせ、お申込みは販売元の ProQuest 日本支社、または販売総代理店である紀伊國屋書店までご連絡ください。

ProQuest 日本支社

〒220-8401

横浜市西区みなとみらい 3-3-1 三菱重工横浜ビル

Tel: 045-342-4780 Email: sales@japan.proquest.com

株式会社 紀伊國屋書店

学術情報商品部 電子商品課

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

Tel: 03-6910-0518 Email: online@kinokuniya.co.jp

もしくは最寄りの営業部・営業所へご連絡下さい。

Early English Books Online (EEBO)

初期英語書籍集成データベース

NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム成立 大阪特別イベント開催

日 時: 2016 年 10 月 7 日(金) 13:00 – 17:00 (予定)

会 場: ハービス PLAZA 5F 8-10 号室

(阪神梅田駅西改札より徒歩 6 分)

参加費: 無 料

🔵 基調講演「近世イギリス史研究と EEBO」

神戸市外国語大学 指 昭博 教授

[プロフィール] テューダー朝を中心とする近世イングランドの歴史、とくに、宗教改革史との関連で、メアリ 1 世やエリザベス 1 世時代の教会・宗教と社会についての研究を専門とする。また、近代イギリスにおけるナショナル・アイデンティティ形成と歴史意識や宗教との関わりについての研究や、生活文化に視点を置いた社会史についても研究を進めている。

代表的な著書に『イギリス宗教改革の光と影ーメアリとエリザベスの時代ー』

2010 年 11 月、ミネルヴァ書房、『イギリス発見の旅ー学者と女性と観光客ー』

2010 年 11 月、刀水書房、また『図説イギリスの歴史』(増補版)2015 年 6 月、河出書房新社がある。



🔵 講演1

「NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム について」

国立情報学研究所
学術基盤推進部学術コンテンツ課長
細川 聖二 氏

日本の学術研究の振興を目的に、国立情報学研究所(NII)と大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)が共同で電子コレクションの整備に取り組むジョイントプロジェクトに、この度 ProQuest の EEBO が採択されました。NII よりコンソーシアムの意義と見通しをご講演頂きます。

🔵 講演2

「Jisc(英国情報システム合同委員会) ケーススタディ」

Farhana Hoque

ProQuest Product Manager Sr.

ProQuest 社英国の電子アーカイブ担当者より、英国における電子アーカイブ利用の最新事情をご紹介します。(通訳あり)

会場アクセス情報

ハービス PLAZA 5F 貸会議室

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 5・6F

<http://www.herbis-kaigi.com/access/>



最寄駅(徒歩)

阪神梅田駅(西改札)より徒歩 6 分
JR 大阪駅(桜橋口)より徒歩 7 分
JR 東西線北新地駅(西改札)より徒歩 10 分
地下鉄四つ橋線西梅田駅(北改札)より徒歩 6 分
地下鉄御堂筋線梅田駅(南改札)より徒歩 10 分
地下鉄谷町線東梅田駅(北改札)より徒歩 10 分
阪急梅田駅より徒歩 15 分

新幹線・航空機のご利用は

新大阪駅より
約 4 分(JR:大阪-新大阪間)
約 6 分(地下鉄:梅田-新大阪間)
大阪(伊丹)空港より約 25 分
(ハービス ENT 北側すぐより、リムジンバス利用)
関西国際空港より約 60 分
(ハービス ENT 北側すぐより、リムジンバス利用)

このイベントに関するお問い合わせ、お申込みは販売元の ProQuest 日本支社、または販売総代理店である紀伊國屋書店までご連絡ください。

ProQuest 日本支社

〒220-8401

横浜市西区みなとみらい 3-3-1 三菱重工横浜ビル

Tel: 045-342-4780 Email: sales@japan.proquest.com

株式会社 紀伊國屋書店

学術情報商品部 電子商品課

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

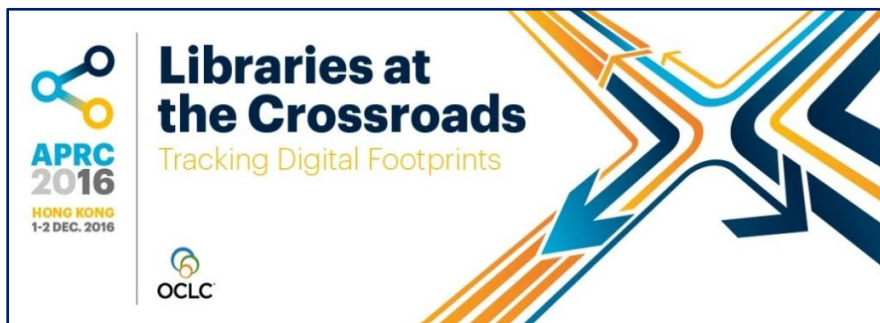
Tel: 03-6910-0518 Email: online@kinokuniya.co.jp

もしくは最寄りの営業部・営業所へご連絡下さい。

商品情報をはじめ、OCLC に関する様々な情報をご案内致します。

●Topics●

今年もアジアパシフィック地域会議を開催(香港)！



OCLC アジアパシフィック地域会議が 2016 年 12 月 1 日(木)、2 日(金)、香港ハーバーグランド・ホテルで開催されます。今年のテーマは ”Libraries at the Crossroads: Tracking Digital Footprints: Recognizing and Predicting User

Behavior.”です。[香港中央図書館](#)、[香港理工大学図書館](#)、[香港大学図書館](#)への訪問ツアーも予定されています。[詳しい予定はこちらから》](#)

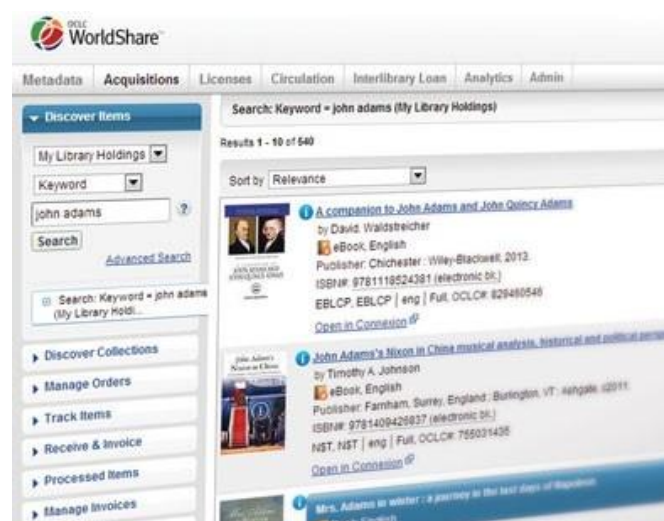
また、会議の中で紹介するオリジナルビデオを皆様から募集しています。「インターネット、モバイル世代の若者を引き付ける図書館とは何か?」「彼らへの効果的なアピール方法は?」などのテーマで、自館やコミュニティでの取り組みを 3 分～5 分のビデオにして紹介してください。ベスト 5 に入った機関は会議への参加費が免除されます。締め切りは 10 月 3 日です。奮ってご応募下さい！ [詳細はこちらから》](#)

WMS サービス開始から 5 周年！

OCLC が世界発のクラウド型図書館共同管理システム [WMS\(WorldShare Management Services\)](#)の提供を開始してから 7 月 1 日で 5 周年を迎えました。今では 6 大陸 500 館以上の図書館が WMS を導入しています。WMS は、発注、受入、貸出、目録、相互貸借、OPAC、ライセンス管理、統計作成など、図書館運営に必要なあらゆる業務を行うことのできる総合システムです。

OCLC のプリチャード CEO は、WMS の成長を振り返り、「図書館の仕事を抜本的に変えてしまうような変化というのはそうそうあることではないのですが、WMS はまさにそうした変化を生んできました。WMS がこれほど採用され、かつ進化しているのは、OCLC メンバー館の献身的な協力の賜物です。」と述べています。WMS リリース当初からの導入校 [Pepperdine 大学図書館](#)のリン・ジェイコブセン副図書館長は、「WMS はまさに 21 世紀の図書館システム」と評価しています。2015 年中にも、北米で 80 館以上の採用が決まるなど、大学、公共を問わず WMS の利用館は世界中に広がっています。

[当記事の詳細はこちらから》](#)



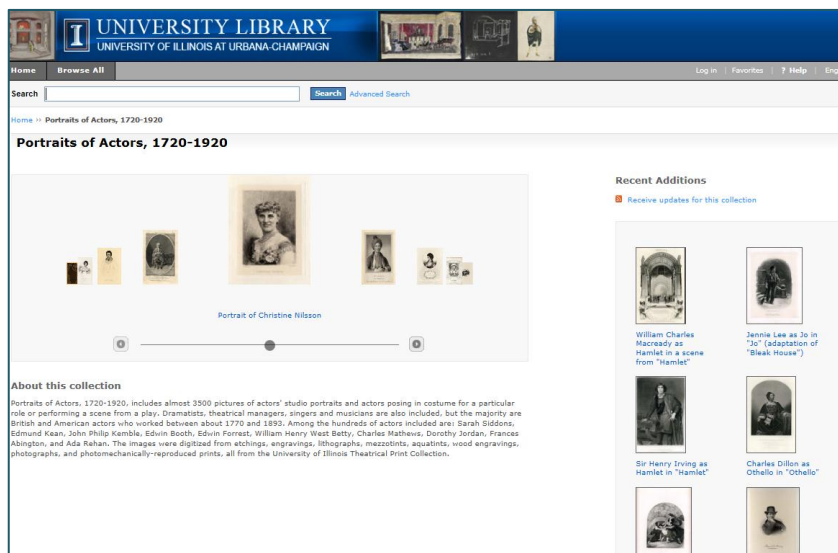
●○CONTENTdm コレクション紹介○●

米国の名門公立大学であるイリノイ大学は、役者、脚本家、歌手などの写真を集めた「Portraits of Actors, 1720-1920 コレクション」を OCLC の CONTENTdm で公開しています。そのコレクションには 3,500 点以上のエッチング、彫刻、リトグラフ、写真などがデジタル化されて収録されており、利用者はオンラインで簡単にアクセスすることができます。サラ・シドンス、エドモンド・キーンなどのシェイクスピア俳優をはじめ、主に 1770 年～1893 年に英米で活躍した役者の写真が中心で、中には衣装を着て役のポーズをとっているものもあります。

CONTENTdm は、デジタルコレクションの構築、管理を可能にするプラットフォームです。様々なテーマに沿って自由自在にカスタマイズができるので、自館コレクションを魅力的にアピールすることができます。

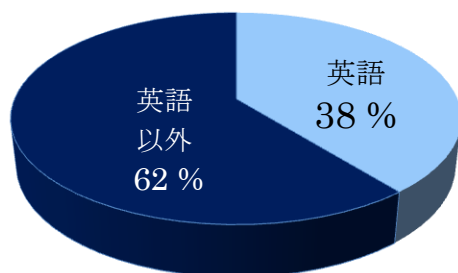
また CONTENTdm は、WorldCat と連動していますので、登録されたコレクションは自動的に世界中の WorldCat ユーザーの目に触れることになります。

[CONTENTdm の詳細はこちらから》](#)



●○今号の数字○●

WorldCat の書誌レコードの中で英語以外のレコードが占めるパーセンテージ...



62%

※2016 年 7 月現在

[WorldCat](#) には約 3 億 8 千万の書誌レコードが登録されていますが、資料の言語種は多岐にわたっています。英語以外の言語が占める割合は、2000 年には 3 割強だったのが、今では 6 割にものぼっています。日本語では JAPAN/MARC が全件搭載されており、その登録数は 2015 年 1 月時点で約 980 万件に上ります。WorldCat は英語資料を発見するためのツールではありません。日本語の資料はもちろん、まさに世界中の資料の情報を知ることができるのです。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊國屋書店 学術情報商品部 OCLC センター <http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>

に則り、取り扱わせて頂きます。

「風俗画報」と欧米の図版資料 ～起源・始まり～

株式会社 ゆまに書房

Web版風俗画報は、ジャパンナレッジが提供する電子書籍プラットフォームJKBooks上で、我が国最初のグラフ雑誌「風俗画報」をご提供するデータベースです。明治22(1889)年創刊、518冊からなる「風俗画報」は、我が国最大の風俗研究誌としても知られます。

「風俗画報」に掲載されている図版を、センゲージラーニング社Galeのデータベースに搭載された欧米の図版資料と比べながらご紹介する企画、第一弾は「万博博覧会」をテーマとしましたが、第二弾は「起源・始まり」を例にとり、「明治、大正時代に起源を持つ物」を集めました。西洋から伝わってきた物事を初めて目にした当時の日本人は、さぞかし驚いたことでしょう。本稿では、そういった様子が伝わってくる図版や記事をご紹介します。

◆冷蔵庫

この行列は何かな？と思う図ですが、冷蔵庫を見る人たちの行列です。明治36(1903)年に開催された第5回内国勧業博覧会での様子です。



左:〈図〉冷蔵庫 右:記事 冷蔵庫
第275号 第5回内国勧業博覧会図会下編 (明治36年9月30日)

この博覧会で展示された冷蔵庫は、現在の冷蔵庫とは異なり、何十人も入ることのできる個室だったようです。記事文中にもあるように、冷蔵庫内は熱のあるものを嫌うため、観覧は入れ替え制で、一度につき50人の入場制限がありました。長蛇の列ができなかなか動かない、ということからも、人々から大変注目されていた様子がわかります。とても不思議だったのではないのでしょうか。当時の汽船には、すでにその設備があったという記述は、興味深い点です。

◆エレベーター

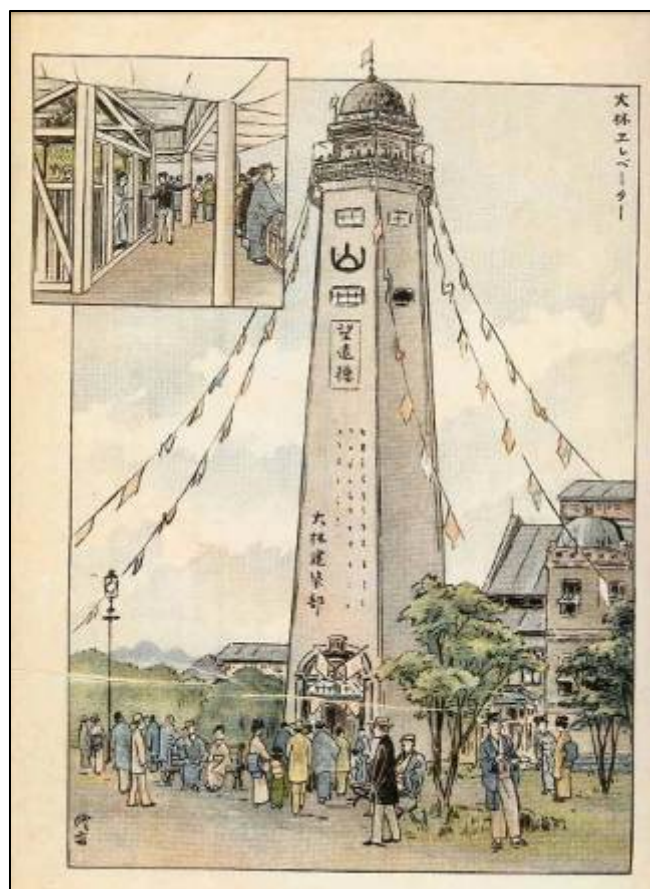
日本で初めてエレベーターが設置されたのは、明治23(1890)年、浅草の凌雲閣でした。

凌雲閣は、明治23年に浅草公園に設立された12階建ての建物で、建物内にはオルゴール、アーク電燈などが設置されていました。凌雲閣は、当時の最新技術が集まったモダンな町浅草の象徴だったようです。そのモダンの象徴の一つとして、エレベーターも設置されました。以下の記事では「エルベートル」と記され、15人から20人が同時に乗ることができ、1分間で1階から8階まで昇降できるものと紹介されています。

また、明治 36 年の第 5 回内国勸業博覧会でもエレベーターはお目見えしました。その博覧会のシンボルとなった大林高塔に設置されたのです。その図がこちらです。「エレベートル」から「エレベーター」に呼び名が変わっています。記事や図版を追っていくと、年代とともに呼び名が変わっていく事まで分かります。



凌雲閣
第 23 号(明治 23 年 12 月 10 日)

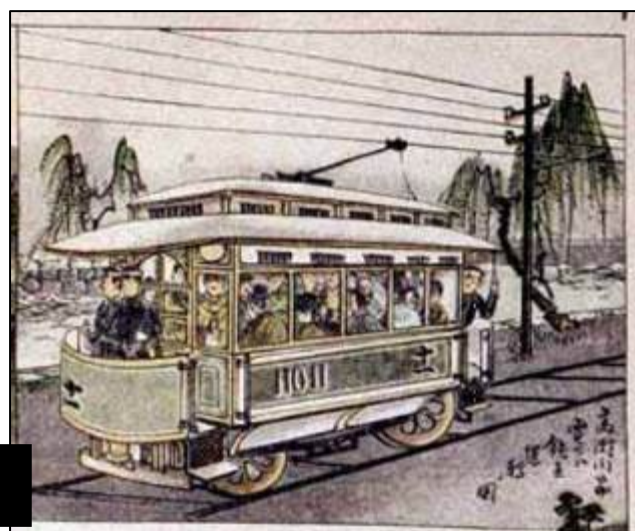


〈図〉大林エレベーター
第 275 号 第 5 回内国勸業博覧会図会下編
(明治 36 年 9 月 30 日)

◆電車

日本で路面電車が初めて運転されたのは明治 23 (1890) 年、東京上野の第 3 回内国勸業博覧会であると言われています。

明治 28 年 2 月には、京都で日本初の営業用電車が開業し、その年の京都博覧会会場へは沢山の人が電車に乗って訪れたようです。京都博覧会の特集号にそんな様子の図が載っていました。



〈図〉高瀬川筋電気鉄道運転の図
第 94 号(明治 28 年 6 月 18 日)

その後、各都市に沢山の路線が広がっていったようです。

東京の電車について、右の図が見つかりました。これは明治 36 年 10 月 10 日号の表紙です。行先は「新橋行」と書いてあります。

調べてみると、明治 36 年に「東京電車鉄道」という会社が品川―新橋間を開業させたそうですから、これはその電車の図でしょう。この会社、前身は「東京馬車鉄道」だったそうです。「馬車」から「電車」への進化は、さぞかし人々を驚かせたことでしょう。



表紙 〈図〉電車鉄道
第 276 号(明治 36 年 10 月 10 日)

◆自転車

自転車は明治時代に日本に入ってきましたが、明治 25 年頃から流行したようです。「風俗画報」の中にも図や記事が見受けられます。

下の図は明治 26 年 6 月 1 日号の「日本帝国陸軍特別大演習記事及服制図会」に収録されている図です。右下の兵士は「オーディナリー型」と言われるものに乗っています。



〈図〉滝ノ原ノ南方壬生街道之西側ニ於ル南軍ノ砲兵並ニ自転車通信使
第 54 号 日本帝国陸軍特別大演習記事及服制図会 (明治 26 年 6 月 1 日)

そして、その5年後の号には、下記のものが掲載されていました。この図は日本人による最初の自転車競争運動会を描いたもので、色々ユニークな競技が行われたことが分かります。自転車の形が現在のものに近い、「セーフティ（安全型）自転車」に変化していることから、5年の間の技術の進化が見えてきます。



左：〈図〉 不忍池畔自転車競争之図 右：記事 自転車競争運動会
第178号(明治31年12月10日)

◆映画

下の図と記事は、明治30年に行われた映画（活動写真）の「日本初の上映会」の様子です。記事には、「米國ナイアガラの大瀑布の景」や「女丈夫ジョアンダーク火刑の景」などが上映されたと書かれています。



左：〈図〉 神田錦輝館活動大写真の図 右：記事 錦輝館の活動写真
第138号(明治30年4月10日)

この「神田錦輝館」という建物自体は、もともと集会を行うための貸しホールだったそうで、座る場所によってはスクリーンが良く見えない人も居たのでは無いかと思います。それでも人々が「映画」というものを初体験して、驚いている様子が伝わってきます。

◆音楽隊

オーケストラの原型と言うべき音楽隊の図です。明治 28 年の記事によると陸軍の軍楽隊をはじめいろいろな音楽隊があったようです。芸妓さんの音楽隊はユニークですね。



〈図〉東京少年音楽隊の図
第 97 号(明治 28 年 8 月 10 日)

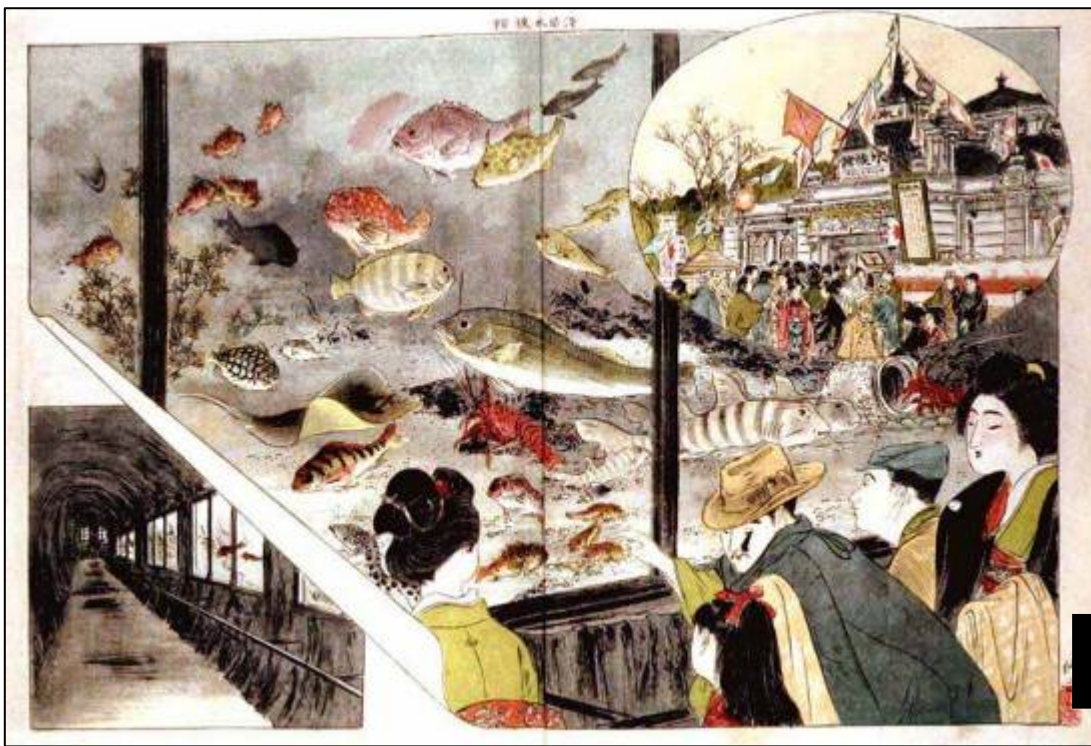


〈図〉幼年音楽隊、少年音楽隊、市中音楽隊、芸妓音楽隊
第 100 号(明治 28 年 10 月 10 日)

◆水族館

水族館も明治時代に初めて作られました。何枚か図版を紹介していきます。

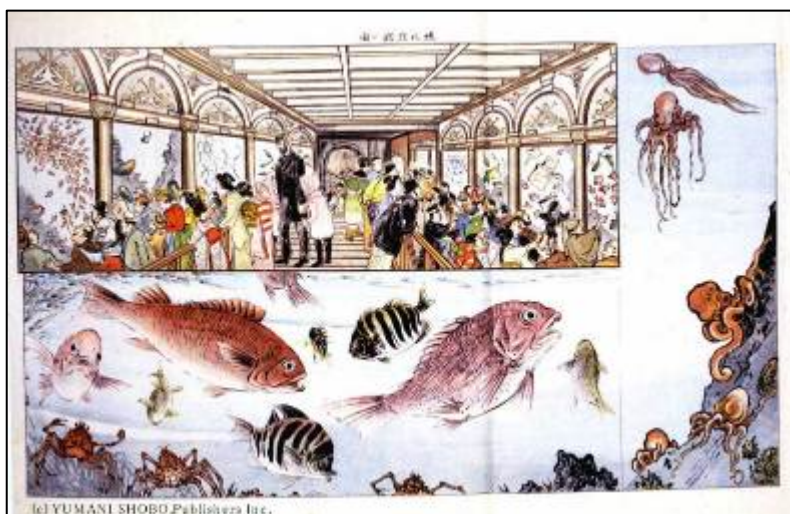
まずは明治 32 年にできた浅草の水族館です。日本初の私設水族館だったそうです。設備が立派で、現代の水族館のイメージに近いものになっています。



〈図〉浅草水族館
第 204 号 (明治 33 年 2 月 10 日)

次の図は、明治 36 年の第 5 回内国勸業博覧会の際に作られた堺水族館です。日本最初の本格的な水族館で、当時東洋一の水族館といわれたそうです。博覧会期中の水族館への来館者数は 80 万余りを数えました。

好評だったためでしょうか、博覧会終了後、国から堺市に無償で使っても良いという許可が出たことを伝える記事も載っていました。



〈図〉堺水族館の図
第 269 号 (明治 36 年 6 月 10 日)



堺水族館の繼續
第 275 号 (明治 36 年 9 月 30 日)

◆動物園

日本で一番古い動物園と言えば上野動物園です。

明治 29 年の全体図には、どんな動物がいるか檻に名前が載っており、すでにクマやトラの名前が見られます。



〈図〉上野公園動物園之図
第 131 号新撰東京名所図会
第 2 編上野公園之部下
(明治 29 年 12 月 20 日)

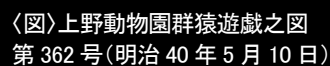
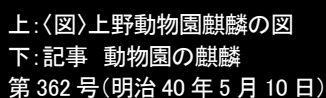
ライオンが初めて日本に来たのは明治 35 年だったそうです。

下の図にはライオンの檻を覗く人々の様子も描かれており、多くの注目を集めていることが分かります。ちょっとライオンが窮屈そうでかわいそうですが。



〈図〉上野動物園新渡来の獅子牝牡
並に駝鳥の図
第 245 号(明治 35 年 2 月 15 日)

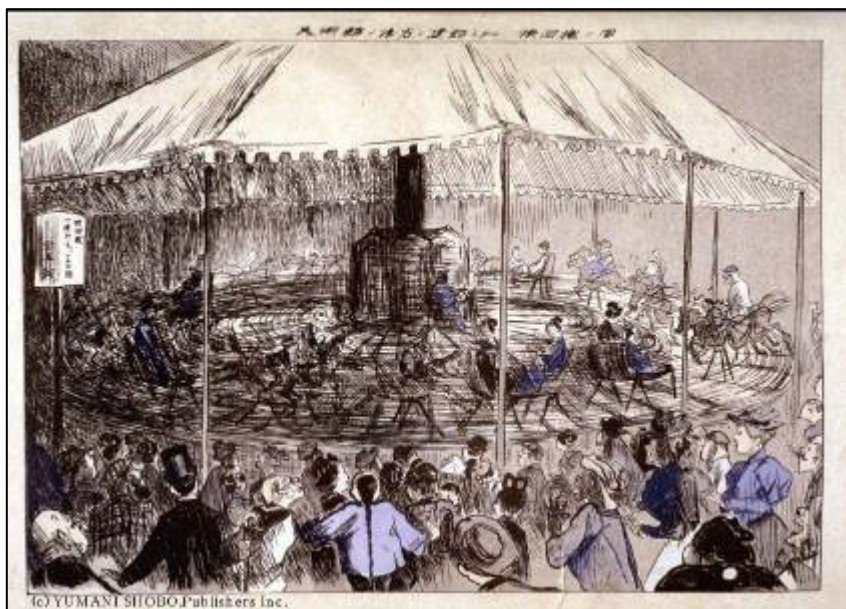
猿の方はとても楽しそうですね。ブランコで遊んでいる姿が可愛いです。遠足でしょうか？子供たちの一団が来ています。



◆遊園地

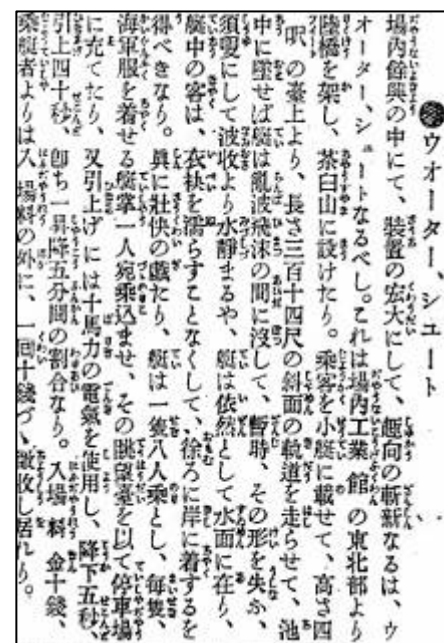
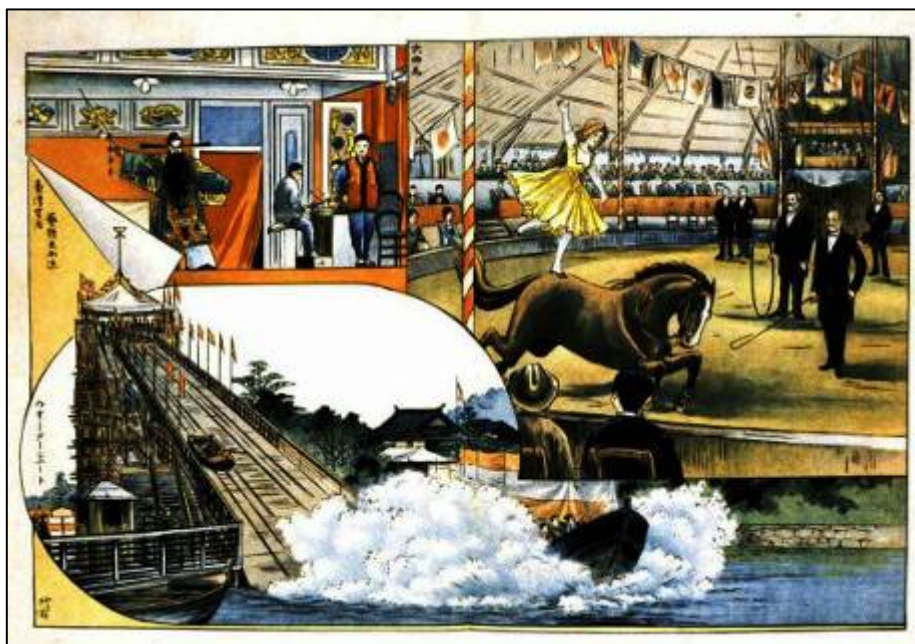
遊園地が日本でできるきっかけは博覧会でした。

メリーゴーランド、ウォーターシュートは、明治 36 年の第 5 回内国勸業博覧会で初めて設置されたそうです。メリーゴーランドは「快回機」にふりがなを振る形で紹介されています。画家さんには早く見えたのでしょ、かなりのスピードで回っているように描かれています。



左：〈図〉美術館の後方二建設シタル快回機ノ図 右：記事 場内の余興○快回機
第 269 号 第 5 回内国勸業博覧会図会上編（明治 36 年 6 月 10 日）

ウォーターシュートも現在のものと変わらない姿です。船の引き上げには電気を使用していたそうです。さぞかし当時の人々は驚いたでしょう。



〈図〉ウォーター、シュート
第 275 号 第 5 回内国勸業博覧会図会下編
（明治 36 年 9 月 30 日）

記事：ウォーター、シュート
第 269 号 第 5 回内国勸業博覧会図会上編
（明治 36 年 6 月 10 日）

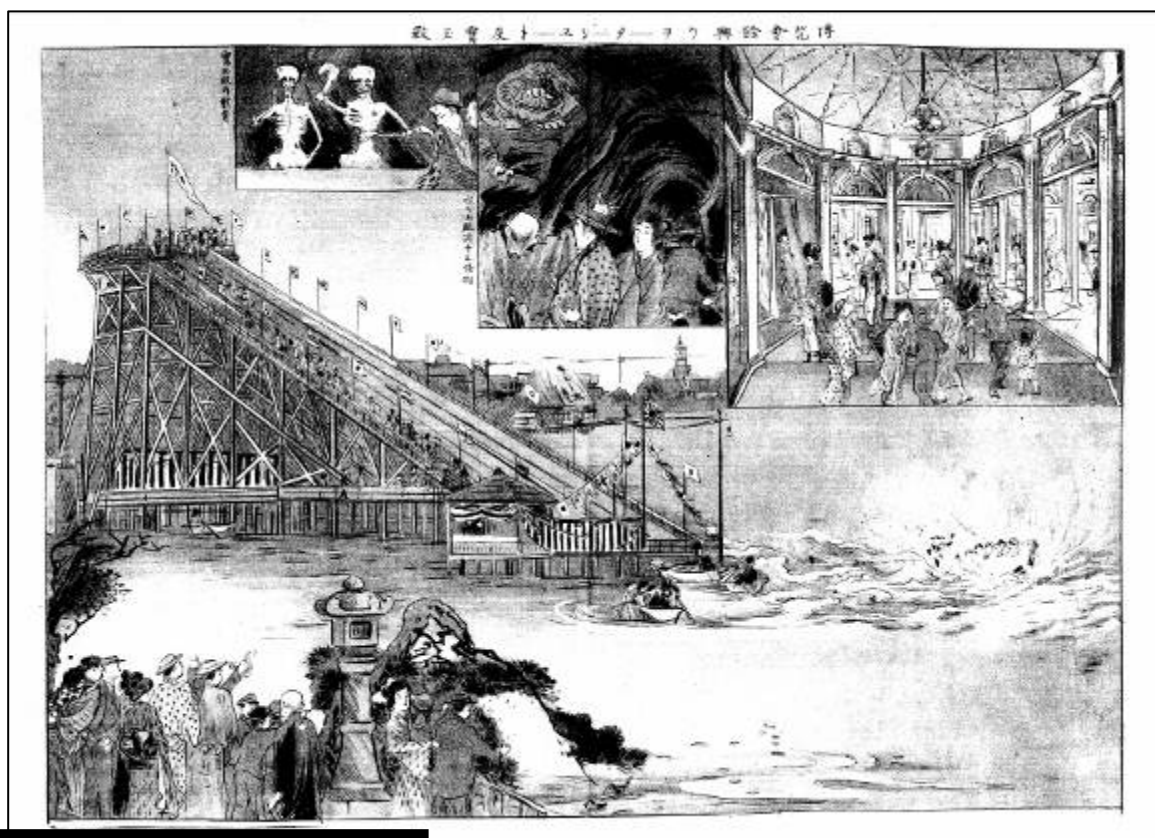
観覧車は明治 40 年の東京勸業博覧会で初めて設置されました。第一会場の「展望観覧車」の写真が載っていました。電気モーターで動くものだったそうです。また、第二会場には「空中回転車」がありました。第一会場の「観覧車」より小ぶりで、こちらは蒸気を用いて回転させていました。毎晩、イルミネーションを点灯させていたという記述も見られます。



左:〈写真〉展望観覧車
第 361 号 東京勸業博覧会図会第 2 編
(明治 40 年 4 月 25 日)

右:記事 空中回転車
第 365 号 東京勸業博覧会図会第 4 編
(明治 40 年 6 月 25 日)

この博覧会でもウォーターシュートは設置されました。前回のものより規模が大きく高さが 50 尺 (15 メートル弱)、傾斜は 200 尺 (60 メートル弱) だったそうです。

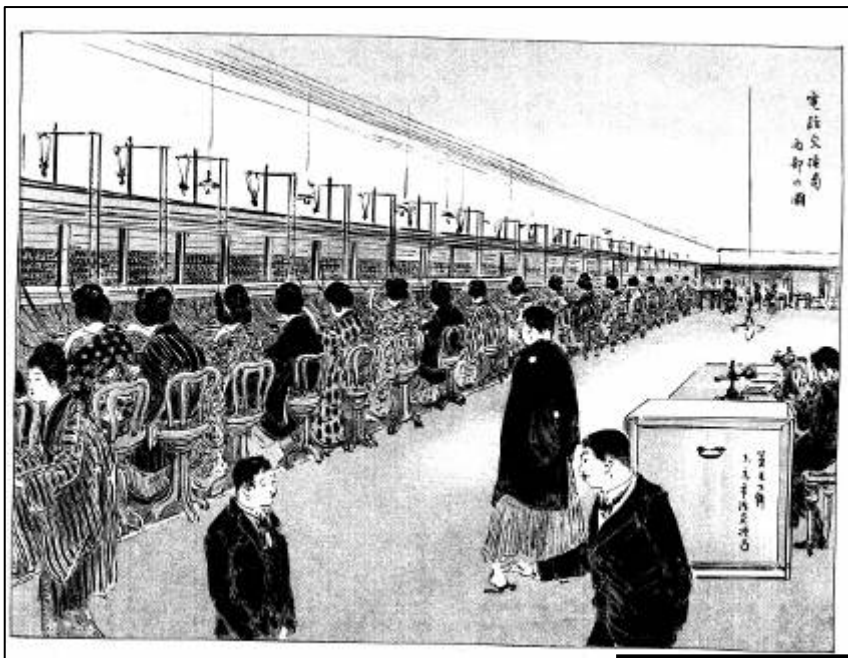


〈図〉博覧会余興ウォーターシュート及宝玉殿
第 365 号 東京勸業博覧会図会第 4 編 (明治 40 年 6 月 25 日)

◆電話

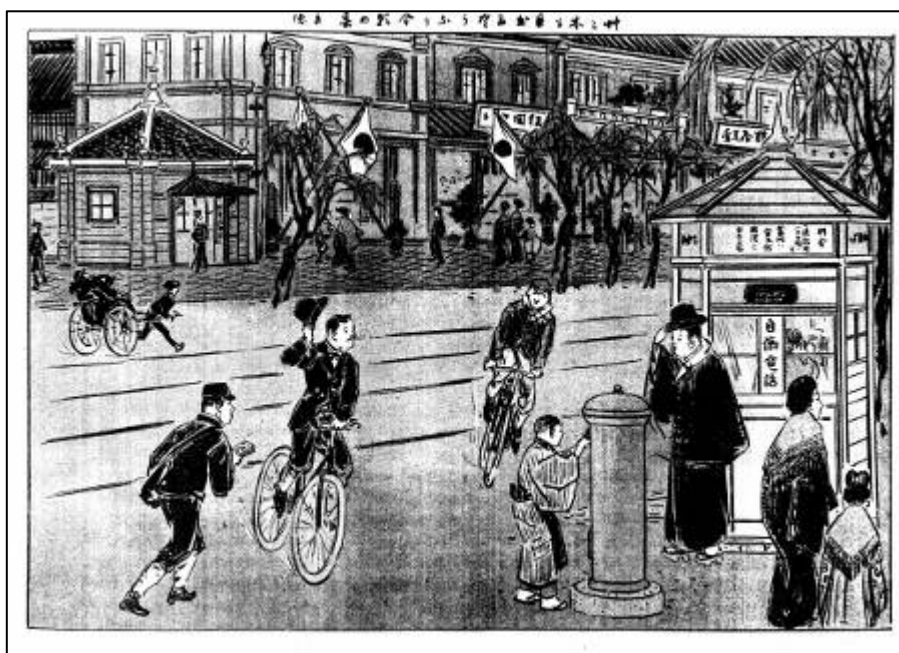
電話が日本にもたらされたのは明治9年頃だったそうですが、明治23(1890)年に電話交換局ができ、東京・横浜間で、わが国で初めて電話交換業務が開始されたようです。

電話交換本局では、男性19名、女性65名が電話交換手として勤務している、と書かれています、図からも女性の交換手が沢山働いていることが分かります。



左:〈図〉電話交換局内部の図 右:記事 電話交換本局[銭瓶町]
第175号新撰東京名所図会第16編麹町区之部上(明治31年10月25日)

この後電話は庶民の生活にどんどん広まっていき、街には電話ボックスも設置されるようになりました。その様子が良く分かるのが下の図です。当時は「自働電話」と言っていたようです。ここにも自転車に乗っている人が見られます。



左:〈図〉市街の花 右:記事 市街の花
第262号(明治36年1月1日)

◆ビール

日本でのビールの歴史は思ったより古く、明治20年代には各地にビール会社ができていたようです。

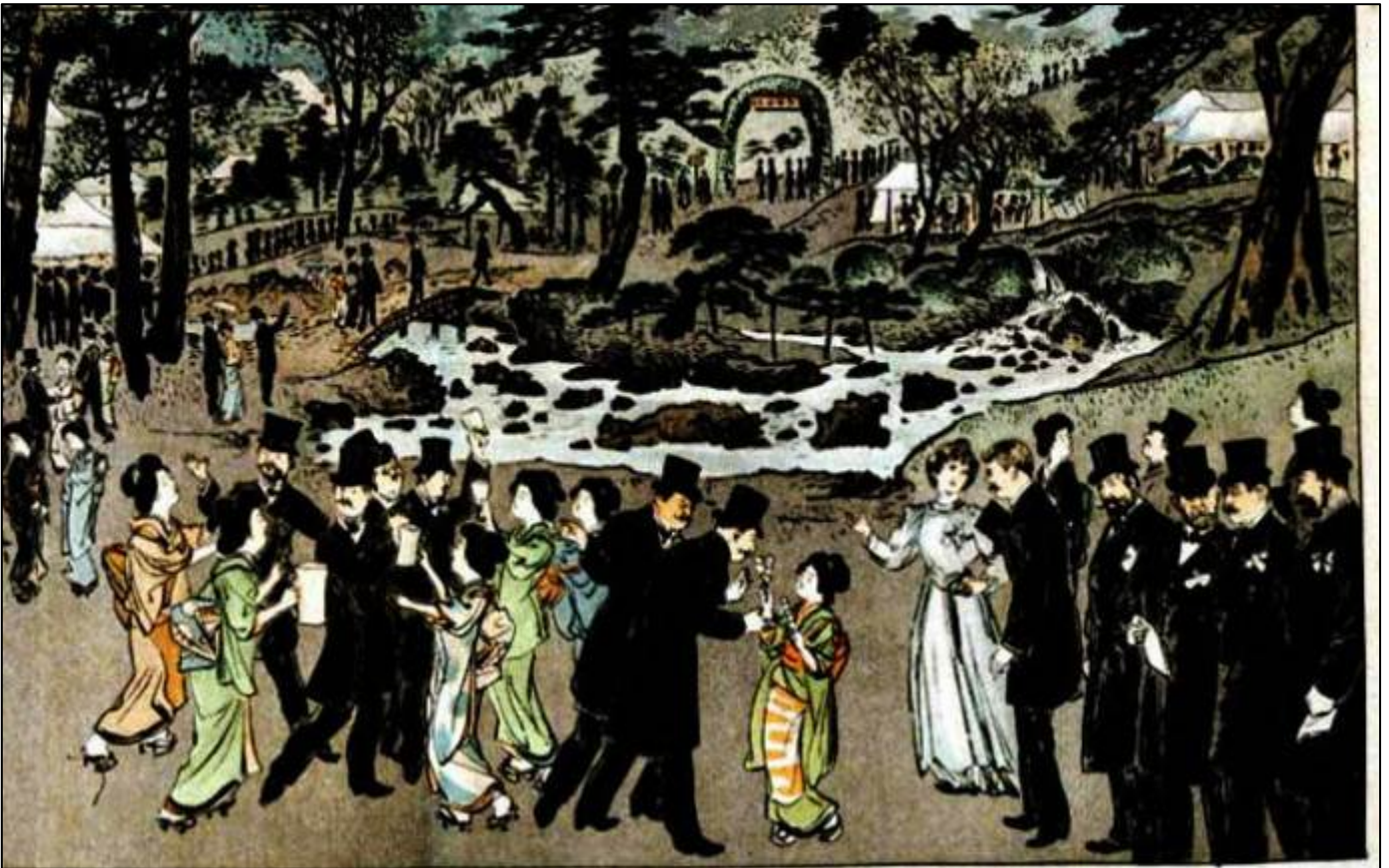
「風俗画報」の中に見られる宴会の風景には、しばしばビアジョッキを持った人たちが登場します。「生ビール」という言葉ももう使われていたようです。当時から「欠かせないもの」だったのでしょう。ビアホールの図もありました。



〈図〉褒章授与式後第一会場に於ける園遊会
東京勸業博覧会図会第5編
第367号(明治40年7月25日)



〈図〉明治十年より十八九年此迄の震鯨宴会の実況
故生方桂堂先生画其2
第224号(明治34年1月20日)



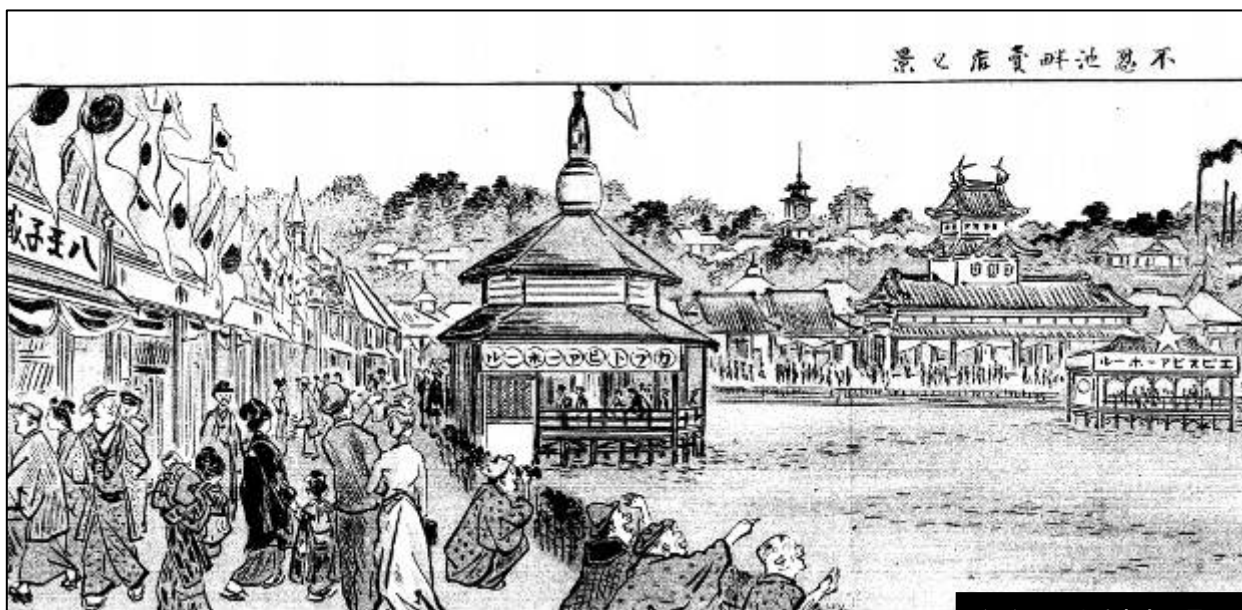
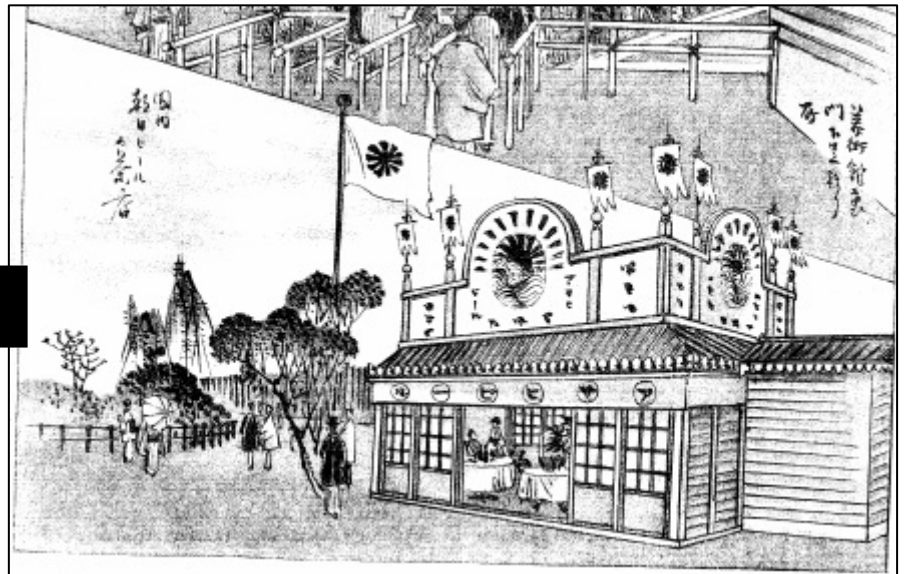
〈図〉雨宮邸内祝賀の宴
第354号(明治39年12月10日)



酒場の内場

〈図〉場内の酒舗
第 335 号 出征軍隊凱旋図会第 4 編
(明治 39 年 2 月 25 日)

〈図〉園内朝日ビールの茶店
第 94 号(明治 28 年 6 月 18 日)



不忍池畔売店之景

〈図〉不忍池畔売店之景
第 365 号 東京勸業博覧会図会第 4 編
(明治 40 年 6 月 25 日)

◆野球

野球は「横浜名所図会」の中に登場します。この公園では、大学生の試合などが行われていたそうです。



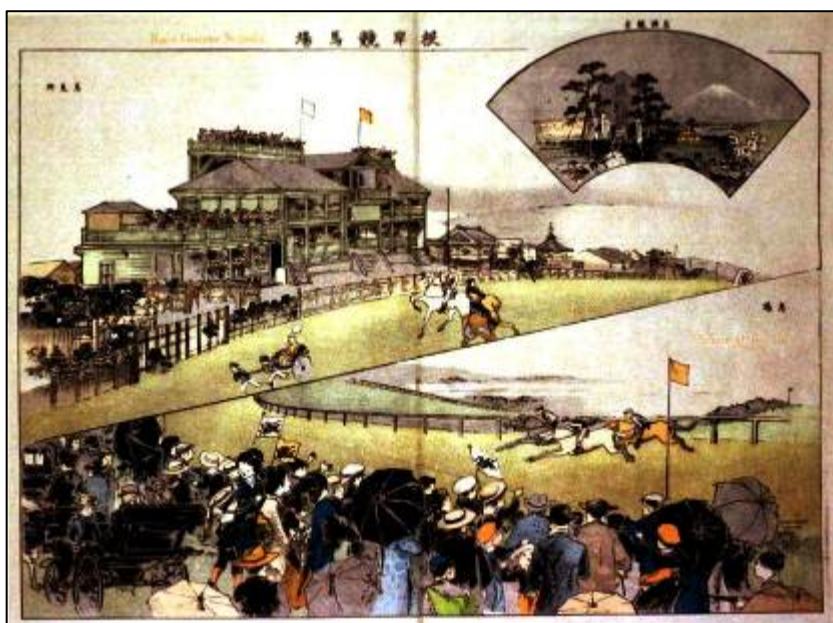
〈図〉公園地内野球競技 第 257 号横浜名所図会(明治 35 年 10 月 5 日)

◆競馬

根岸競馬場は居留地に建設されました。

この図は「横浜名所図会」の中に収録されている根岸競馬場の図です。根岸競馬場は、当初は居留民の娯楽施設でしたが、次第に日本人も参加するようになりました。明治 35 年に描かれたものですが、子供も沢山見えていますね。記事には「毎年春秋二季三日間宛内外人の大競馬ありて、其間は商館の取引までも休止するまでに熱中し、殆ど狂する許りの賑わひなるが」とあり、熱狂ぶりが伝わってきます。

▲根岸競馬場(挿画参照) 根岸町にあり、慶應二年始めて設置する所にして、幅十六間長さ凡そ一里と稱す、毎年春秋二季三日間宛内外人の大競馬ありて、其間は商館の取引までも休止するまでに熱中し、殆ど狂する許りの賑わひなるが、馬の勝敗は直に賭となりて、一擧に數十萬圓の輸贏ありと云ふ。



記事:〈見物の葉(付花暦) 根岸競馬場(挿画参照) 〉図根岸競馬場○馬見所、馬場 第 257 号横浜名所図会 (明治 35 年 10 月 5 日)

池上競馬場は、明治39（1906）年から明治 43（1910）年にかけての 3 年間だけ開設された競馬場です。

池上競馬場では、日本人の手によって初めて馬券が発売されました。第 1 回の様子を報じた「風俗画報」の記事によると、興業 4 日間で、当時のお金で 85 万円もの売り上げがあったそうです。現在の貨幣価値に直すといくらでしょうか、莫大な金額であることは確かです。

また、驚くべきことに、この競馬場ではドレスコードがあったそうです。特に 1 等席は正装が求められたようで、その様子を描いた図は明治時代の日本とは少し別世界のように見えます。



記事：池上競馬会 〈図〉池上競馬会
第 355 号(明治 40 年 1 月 1 日)

まだまだご紹介したい「明治、大正時代に起源を持つ物」は沢山ありますが、今回はここまでにしましょう。今回ご紹介した記事や図から、明治、大正時代の人々の「初めてのもの」を見た驚き、服装などの暮らしの様子、街の様子など色々なものが伝わったのではないのでしょうか？

こういった記事や図が沢山含まれている「風俗画報」ならではの楽しさを、是非一度御体感ください。

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

欧米の図版資料と「風俗画報」 ～起源・始まり～

センゲージラーニング株式会社 Gale

センゲージラーニング株式会社 Gale のデータベースは、イラストレイテッド・ロンドン・ニュース(Illustrated London News, 以下 ILN)に代表される欧米の図版資料を多数提供してきました。図版資料は、都市の景観、社会風俗、日用品などを視覚的に伝えるだけでなく、諷刺画に見られるように、当時の集団的な無意識まで浮かび上がらせる貴重な資料です。歴史資料としての図版資料は日本でも多数発行されてきましたが、それを代表するのが「風俗画報」です。Gale が提供する図版資料と「風俗画報」を比較することによって、一方の資料だけでは見えてこない部分が見えてくるかもしれません。

本稿では、ILN など欧米の図版資料と「風俗画報」を特定のテーマでご紹介します。「万博博覧会」をテーマとした1回目につき、2回目の今回は、「起源・始まり」と題して、19世紀から20世紀初頭に起源をもつモノや現象を取り上げます。

※Gale Primary Sources は新聞、雑誌、書籍、マニュスクリプトなどの歴史資料を収録する Gale の電子リソースの総称です。

◆動物園

猛獣の檻の中に人がいて、外の人々が近寄って叫んでいるような、ただならぬ光景を描いた挿絵です。エレン・ブライトという 17 歳の動物使いの女性が虎に襲われて死亡するという痛ましい出来事を描いたものです。ブライトは、叔父のジョージ・ウォンブウェルが経営していた移動動物園の動物使いとしてヴィクトリア女王の御前で興行をしたこともあります。動物園というと一般市民向けの常設の動物園をイメージしますが、常設動物園が生まれる前に移動動物園が広く親しまれていました。使われている言葉も、“zoo”ではなく“menagerie”です。



*“Frightful Occurrence in Wombwell’s Menagerie”
Illustrated London News, January 19, 1850*

イギリスにおける最初の常設動物園は、ロンドン動物学会が設立しました。挿絵はリージェントパークに作られたロンドン動物学会附属動物園を描いたものです。

動物園とは思えないような壮麗な建築です。見物客もわずかで、庶民というよりは、紳士淑女です。屋上にも人影が見えますが、記事では庭園全体を見渡すことができるテラスになっていると説明されています。



*“Zoological Society’s Gardens. Regent’s Park – New House for Carnivora”
Illustrated London News, April 23, 1843*

1850年、エジプト産のカバがロンドンにお目見えしました。ロンドン動物学協会附属動物園は、カバを見ようと、大勢の人々が訪れたといいます。この挿絵は、1年後にカバが新しい浴槽に入れられた時のものです。よく見ると、柵の向こう側の木の下に多くの見物客がいるのが分かります。



"The Hippopotamus in His New Bath"
Illustrated London News, June 14, 1851

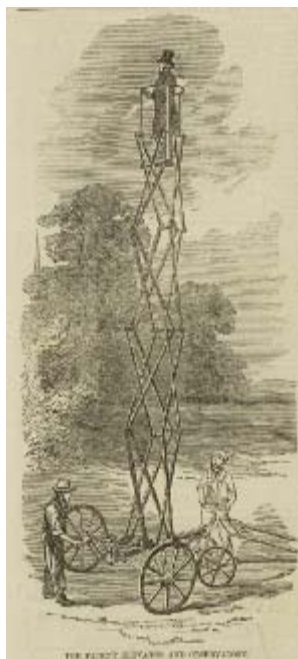
◆エレベーター

エレベーター(lift, elevator)というと、ホテルや百貨店のエレベーターをイメージします。しかし、ILNで"lift"を検索してヒットする最も古い記事は"hydraulic lift"、すなわち「油圧式リフト」です。

この挿絵はヴィクトリアドックに敷設された新しい油圧式エレベーターを紹介する記事に掲載されたもので、船をリフトに載せて、水面上に持ち上げる様子を描いています。記事によれば、600トンの船を35分で所定の位置まで持ち上げるとのことです。重量のあるモノを持ち上げるための業務用エレベーターが、エレベーターの起源です。



"The Hydraulic Lift"
Illustrated London News, December 25, 1858



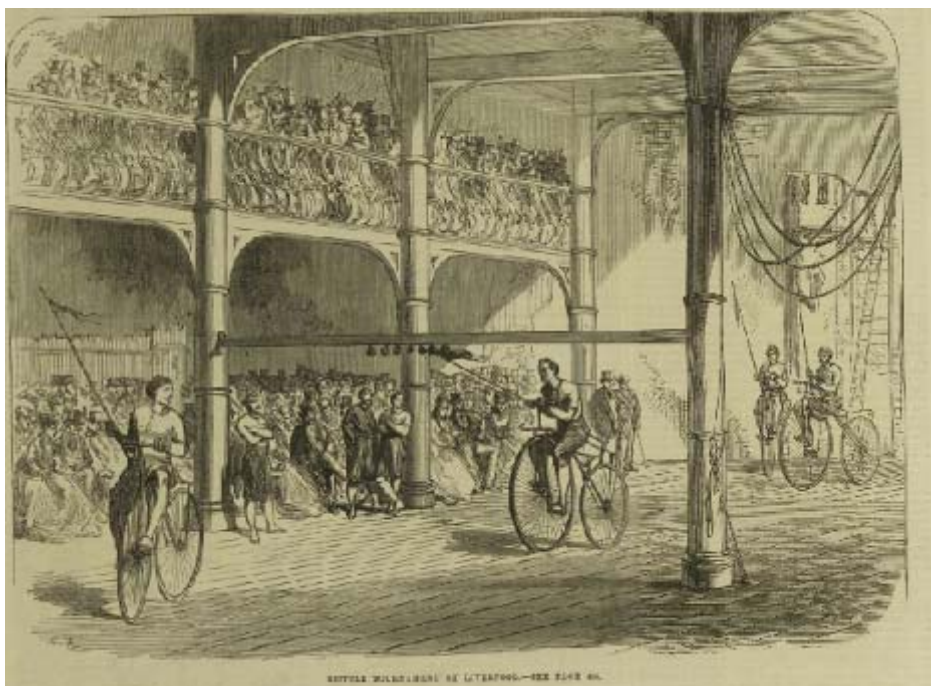
次の挿絵は、シルクハットを被った人が物見櫓に立っている様子がコミカルです。記事によれば、クリミア戦争の時に敵の陣地を遠方から探るうまい方法がないか、案を出し合っていたところ、ある人が、マジックハンドの原理を使えば人をかなりの高さまで運ぶことができると思いつき、試行錯誤の結果、実用に耐えるものを完成させ、政府に採用されるところとなりました。油圧式と比べるとかなり原始的ですが、エレベーターには相違ありません。記事には、これを実践に応用しようとした時には戦争が終わっていたとのオチがついています。

"The Patent Elevator and Observatory"
Illustrated London News, October 11, 1856

◆自転車

自転車も 19 世紀に欧米で生まれたモノです。ILN で”bicycle”を検索すると、自転車競技の記事がヒットし、自転車がスポーツであったことが分かります。また、それらの記事から、自転車には”bicycle”のほかに”velocipede”の呼称があったことも分かります。

下の挿絵は、リバプールで行われた自転車競技を描いたものです。自転車に乗った人が、手に持つ槍を使って、中央の水平の梁からぶら下がっている小さなモノ（指輪のようです）を取ることができるかを競っています。数ラウンドあり、最も多く取ることができた人が優勝したとのこと。これは、自転車を馬に見立て、中世の馬上槍試合を再現していると考えられます。



“A Bicycle Tournament”
Illustrated London News, May 1, 1869

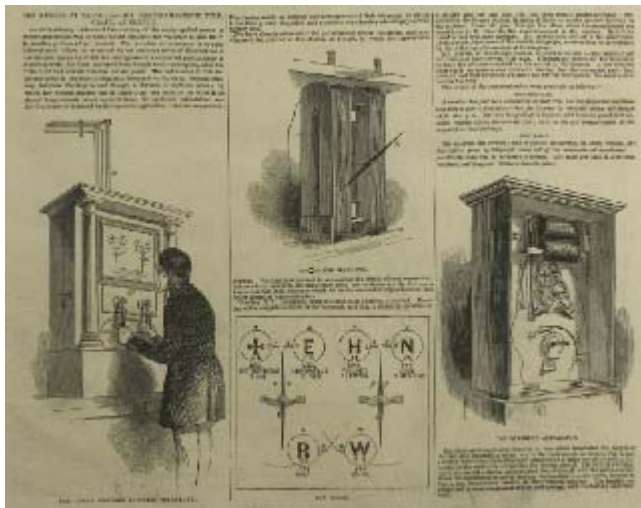
次の挿絵は、アレクサンドラ・パークでの自転車競技会の模様を描いたものです。二輪車だけでなく、一輪車、三輪車、二人乗りのタンデム自転車など、様々な自転車があります。自転車に乗る競技だけでなく、自転車を顔で持ち上げる競技まであったようです。



“The Cyclists’ Camp at Alexandra Park”
Illustrated London News, June 14, 1884

◆電信・電話

19 世紀には距離を短縮する技術革新が実現しました。それを代表するのが電信と電話です。ILN は電信や電話を人々が受け止めた様子を伝えています。左下の挿絵は、殺人事件の逮捕に電信が一役買い、その効用を世に知らしめたことを描いています。右下の挿絵は、電話で新年の挨拶をする人々を描いたものです。



*"The Murder at Salt-Hill - The
Electro-Magnetic Telegraph, at Slough"*
Illustrated London News, January 11, 1845



"New Year's Greetings by Telephone"
Illustrated London News, January 7, 1882

◆ゴルフ、テニス

19 世紀のイギリスでは、現在盛んに行われている多くのスポーツ競技が生まれました。右の挿絵は 1870 年のゴルフ競技会の様子です。全英オープンが始まったのが 1860 年ですから、その 10 年後です。記事を見ると、現在のように 18 ホールではなく、21 ホールで競技していたようです。



"Golf at Blackheath"
Illustrated London News, March 26, 1870

次ページ左の挿絵はその 19 年後の 1889 年のもので、女性のためのゴルフ競技会を描いたものです。初心者からベテランまで、腕前も様々な女性たちがゴルフを楽しんでいる様子が伝わってきます。

次ページ右の挿絵はテニスのウィンブルドン選手権を描いた 1879 年の記事です。記事によれば、ウィンブルドン選手権は 1877 年に始まり、この挿絵は 3 回目の選手権を描いたものです。一番上の競技をしている図は決勝戦のものです。しかし、肝心の競技よりも、観客の方が大きく取り上げられています。男性が女性に話しかけたり、紅茶を振舞ったりと、社交の場であったことが分かります。右側の傘をさした男性が 3 人の女性に話しかけている絵に、テニスの得点の数え方になぞらえて"3 to love"のキャプションが添えられているのは、テニスの記事ならではのものです。



"Ladies' Golf at St. Andrews"
Illustrated London News, October 12, 1889



"The Lawn Tennis Championship"
Illustrated London News, July 26, 1879

◆アフタヌーンティー

イギリスと言えば紅茶です。イギリスに初めて茶が輸入されたのは 17 世紀。一部の王侯貴族の嗜好品だった茶は、時代が下るにつれ、庶民の生活にも不可欠のモノになってゆきます。19 世紀には新しい喫茶の習慣が生まれました。午後に紅茶を飲む「アフタヌーンティー」の習慣です。挿絵は南米の熱帯地方における富裕なプランターの邸宅におけるアフタヌーンティーの時間を描いたものです。



"Afternoon Tea"
Illustrated London News, August 20, 1881

◆鉄道(通勤列車と殺人事件)

イギリスで鉄道の営業運転が始まったのが 1830 年。以来イギリス国内には鉄道網が張り巡らされました。そして、鉄道が毎日の通勤の手段に使われるようになります。左下の挿絵は、通勤用列車の営業運転が始まったときの早朝のヴィクトリア駅の様子を描いたものです。この通勤列車は職人、労働者専用で、平日に毎日、ターミナル駅間を 2 往復しました。乗客は週に 1 シリングのチケットを購入する必要があり、購入の際は、不正防止のため、氏名、住所、職業、雇用者名を提供しなければなりません。挿絵の前方にランプを手に提げている駅員と思しき人の後ろ姿が見えますが、3 月の早朝 6 時頃、まだ夜明け前です。

鉄道は、交通手段としてだけでなく、社会風俗やゴシップの題材も提供しました。一つの例が殺人事件です。右下の挿絵は、ブライトン鉄道の一等客室で小麦商のゴールド氏が殺され、客室から放り投げられ、トンネルの近くで発見された事件を報じる記事です。

現代の推理小説において、鉄道は殺人事件の舞台としてしばしば取り上げられます。鉄道ミステリーなる呼称もあるほどです。ヴィクトリア朝時代の作家は、鉄道での殺人事件という新しい現象に、文学的想像力を掻き立てられたのかもしれませんが。



"The Workmen's Penny Train from Ludgate"
Illustrated London News, April 22, 1865



"The Murder on the Brighton Railway"
Illustrated London News, July 9, 1881

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

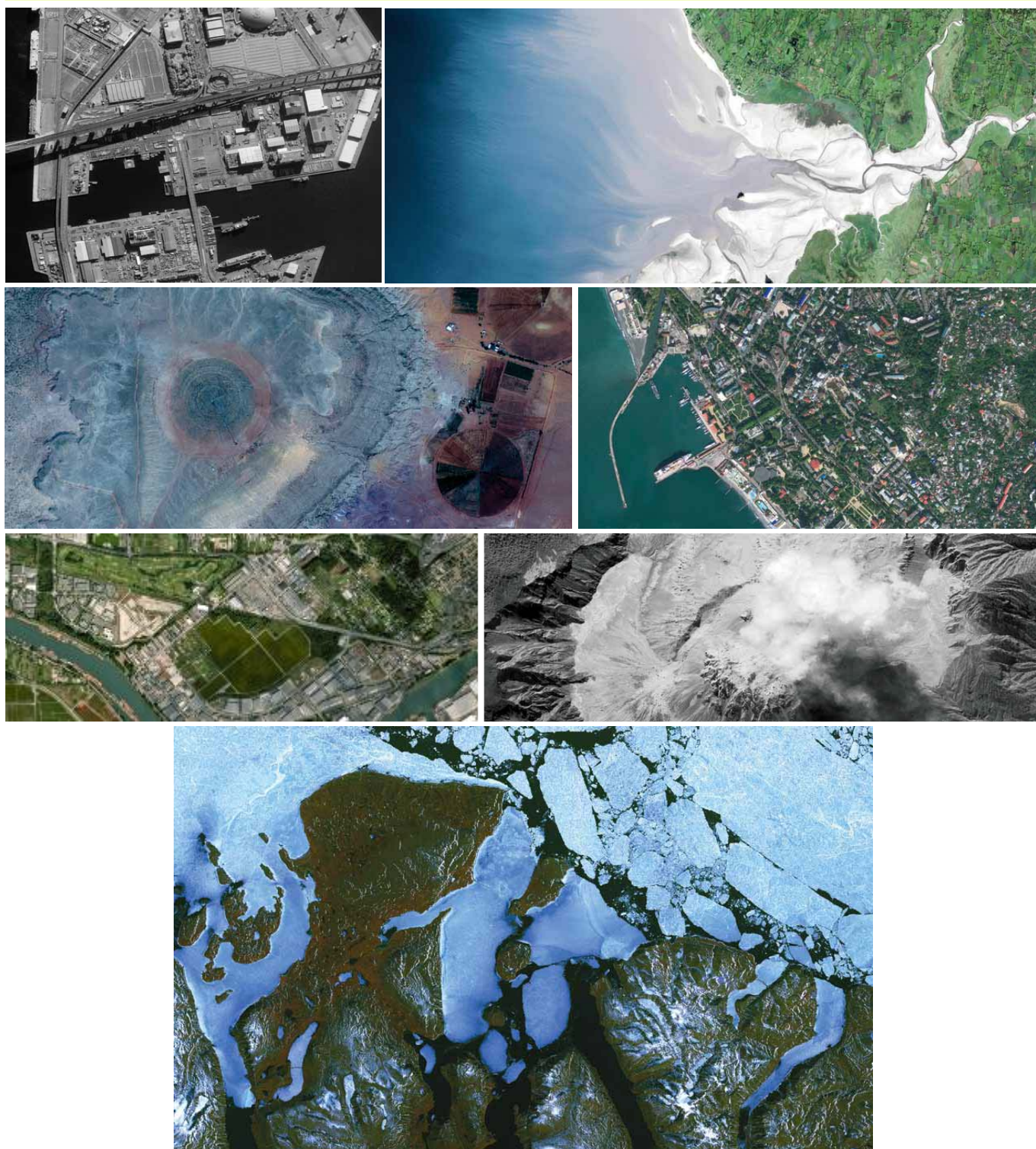
世界中の地図情報・GISデータをお手元に

衛星画像、空撮画像データのご案内

<http://www.kinokuniya.co.jp/O3f/denhan/gis>



Imagery Sourcing & Services

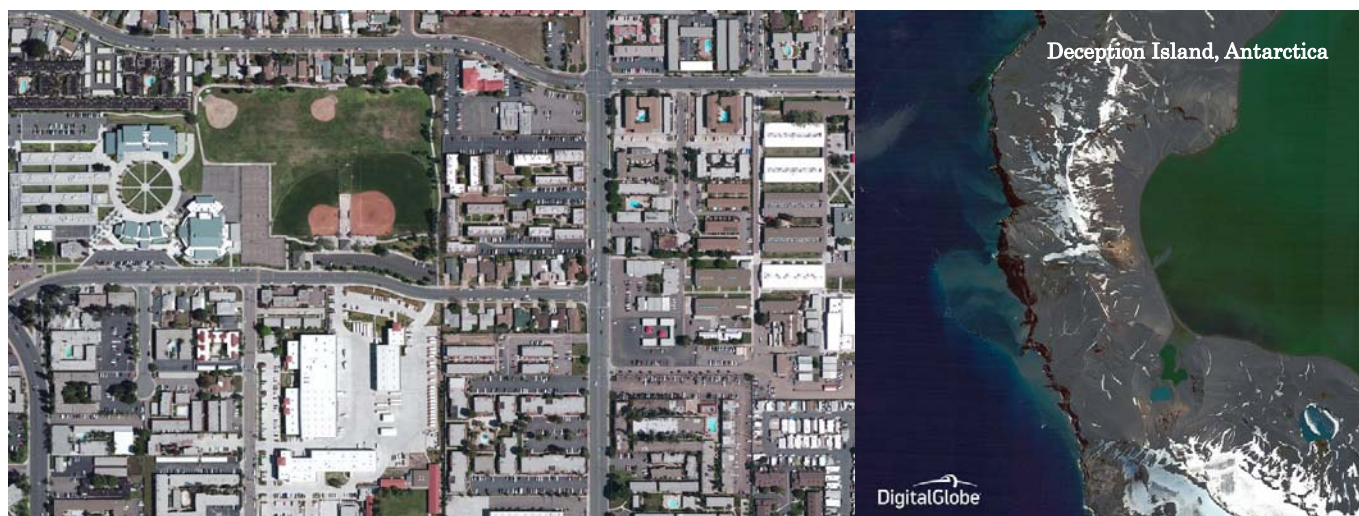




EVG には、全世界のユーザに全地球の画像データを提供してきた長い歴史があります。これらの画像を活用している機関、および画像製品の種類は膨大な数にのぼります。これら画像データの主な利用分野としては、エネルギー、天然資源、航空、通信、防衛、シンクタンク、土地開発、土木エンジニアリング、人道支援、学術、研究などがあげられます。

画像データに対するニーズは、この 10 年間で劇的に増加し、現在では、無数の画像データが、地球空間的な活動のために日々使われています。EVG は、全世界のサプライヤーからのリモートセンシングデータ、地球空間データを利用者にお届けするために、1995 年に発足しました。それ以来、EVG は、利用者が最良のデータを入手できるようお手伝いし、状況によっては、仕様に添ったデータセットを個別にカスタムメイドしてお届けしています。

衛星画像サプライヤーと衛星システム(搭載センサー、レーダー)



DigitalGlobe (GeoEye) >

マルチ解像度、5つの衛星網：
WorldView-2、WorldView-1、QuickBird、
IKONOS、GeoEye 1



衛星画像サプライヤーと衛星システム(搭載センサー、レーダー)



Airbus Defence and Space >

マルチ解像度、複数の衛星網、光学センサーおよびレーダー群：

Pleiades 1A、1B、SPOT 5、SPOT 6、TerraSAR-X、FORMOSAT-2、DEIMOS-1、TanDEM-1

EVGは、SPOTMaps (2mカラーモザイク地図) も提供します。

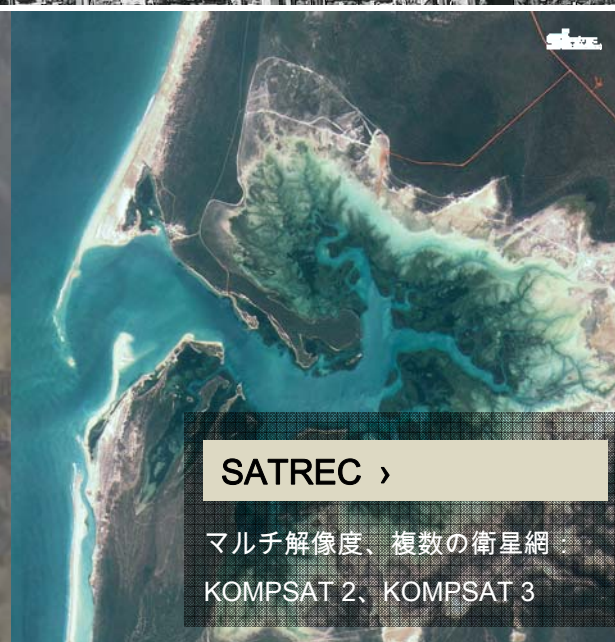
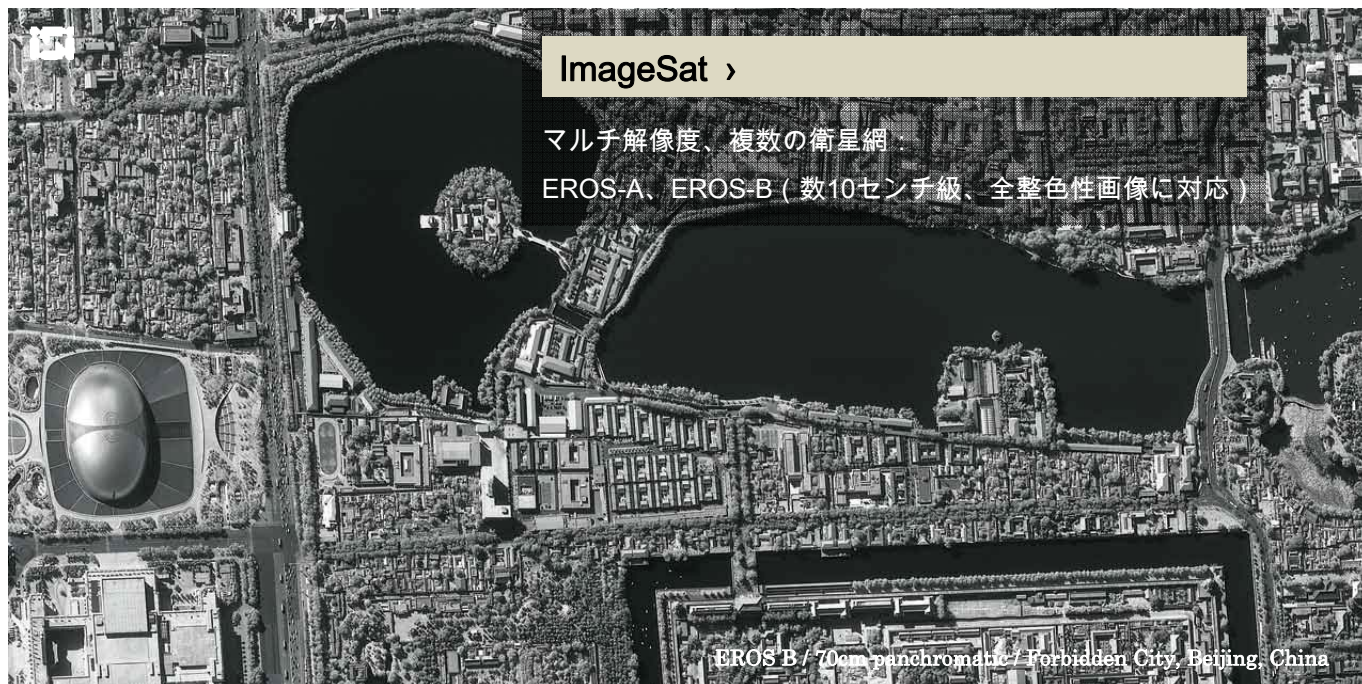


SPOT / 2.5m / Sakikdah, Algeria



PlanetObserver >

全地球15m解像度衛星画像モザイク、
および30～90m解像度の地形画像



その他の画像系製品

East View Geospatial (EVG) は、最新の画像データを世界中のサプライヤーから入手し、利用者にお届けしています。多種多様で先鋭的なGISデータをご用意していますので、ニッチなご要望にも十分お応えします。



各国政府系機関

世界中の政府機関、企業における画像データシステムの運用は、ますます増加していますが、以下システムの個別データについては、商品としてご提供が可能です。

RADARSAT (カナダ)

CBERS (中国/ブラジル)

Envisat (EU) TerraSAR-X (ドイツ)

IRS, Cartosat, Resourcesat (インド)

COSMOS SkyMED (イタリア)

ASTER (日本/米国)

Resurs DK, Monitor-E (ロシア)

KOMPSAT (韓国)

FORMOSAT (台湾) Landsat (米国)



米国および旧ソ連の機密解除画像

EVGは、米国、旧ソ連の冷戦時代における衛星画像をはじめとする各種画像データを保有しています。これらは1960~1980年代においては、唯一の高解像度衛星画像です。



レーダー、リモートセンシング画像

EVGは、レーダー、LiDAR画像のサプライヤーとの協業も行っています。レーダーセンサーによる画像は、天候や気象条件の影響を受けず、LiDARデータは正確な位置情報と、細密な地形情報を提供します。



空撮画像

リモートセンシング業界では古くから使われている空撮画像は、世界中の数多くの機関で収集されています。EVGは、これらの画像を市場に供給する立場にあり、複数の国際的なコネクションとパートナーシップを使い、解像度や撮影時期を個々のニーズに合わせ、1つの製品として利用者にお届けします。

EVGの多様なサービス

EVGは、多くの画像製品はもちろん、産業用、研究用の画像処理も行っています。主なものは以下の通りです。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| ➢ オルソ化処理 | ➢ 画像分析(解釈、解析) |
| ➢ DEM(Digital Elevation Models) | ➢ オルソ写真地図 |
| ➢ 属性抽出(立体処理、および平面処理) | ➢ 地上基準点の取得 |
| ➢ 空港地図データベース(AMDB) | ➢ 建築物の高さ抽出 |
| ➢ 地図、GISデータ(制作、更新) | ➢ イメージ都市図(ICM/DICM) |
| ➢ 3Dモデル(都市、および地方) | ➢ データ整形、変換 |
| | ➢ 土地利用、土地被覆の分類 |
| | ➢ 変動調査 |

EVGは利用者に多くの利益をもたらします

画像データを含む GIS(地球空間)データを利用し処理する上で、EVG は利用者に多くのメリットを提供します。

・ 地球空間情報ライブラリー

EVG は、画像データのメタデータをリポジトリとして保持しており、その規模は世界最大級です。

これにより、EVG は、何千万もの衛星画像、空撮画像の情報を素早く集中的にお届けすることができ、30 万を超える地図やテラバイト超級の GIS データが、これを補完します。

・ サプライヤーとの関係

EVG は、幾多の画像サプライヤーや、世界中の政府系地図制作機関に認められた結果、彼らのデータに付加価値をつけ、利用者に提供しています。多くの場合、EVG は、付加価値創出型の GIS ベンダーとしては独占的な地位を確保しています。

・ 高度で柔軟な対応

EVG は、信頼のおける世界的なネットワークを通じて、地図や GIS データ制作に関する優秀な人材を確保しています。これが、すべての市場での多くのニーズに対し、安価で的確なデータをお届けすることにつながっています。

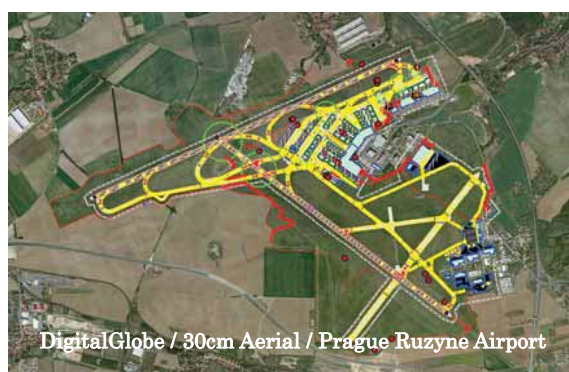
新規サプライヤー

拡大を続ける画像データのニーズにお応えするため、EVG は、下記のサプライヤーとの協業を開始しました。

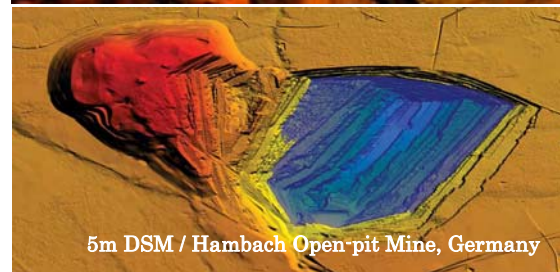
- | | |
|-----------------------------|---|
| ・ Spatial Mapping Ltd.(カナダ) |  |
| ・ UK Ordnance Survey(英国) |  |
| ・ TripleSAT(中国) |  |



画像解析、分析 ➤ EVGは、画像の中で示されている自然物、人工物を分析し、詳細で信頼性の高い重要情報を作成します。そのために必要な機材、システム、技術、人材も確保しています。



属性抽出 ➤ EVGは、画像データをGISベクターデータに変換する作業にも対応します。これにより、ユーザは正確な地勢分析(縮尺、距離の把握など)が可能になります。



DEM (Digital Elevation Models) ➤ EVGは、地形図、画像、レーダーデータを使って DEMデータ (DSMおよびDTM) を生成します。これらリアルな世界のシミュレーションデータは、様々なGISプロジェクトの基盤になるものです。この高付加価値的な手法により、個々のGISプロジェクトにおける地勢モデルのリアリティを高めることができます。



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話: 03-6910-0518、ファックス: 03-6420-1359、e-mail: online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

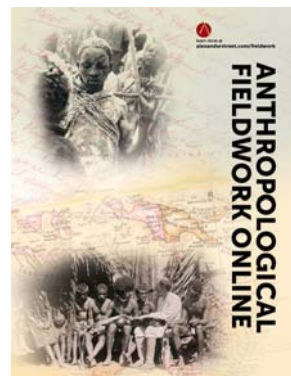


Anthropological Fieldwork Online 文化人類学フィールドワーク・オンライン

◆20 世紀の偉大な文化人類学の業績をうみだした、数々のフィールドワークを記録◆

Alexander Street, a ProQuest Company が提供する本データベースは、20 世紀初頭から中頃にかけての文化人類学関連の重要なフィールドノート、画像、録音を含む一次資料を索引付で提供、世界的な視点から文化人類学の歴史的な発展をたどることのできる電子コレクションです。北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地域をカバーし、数々の理論を形成した初期の研究者の業績を記録します。

収録資料は、フィールドワークでの研究者の経験に焦点を当てており、時代背景を理解するための書簡、メジャーな出版物の後に発表された著作、草稿、講演原稿、記事などの資料も含まれます。



◆収録コレクション(一部)◆

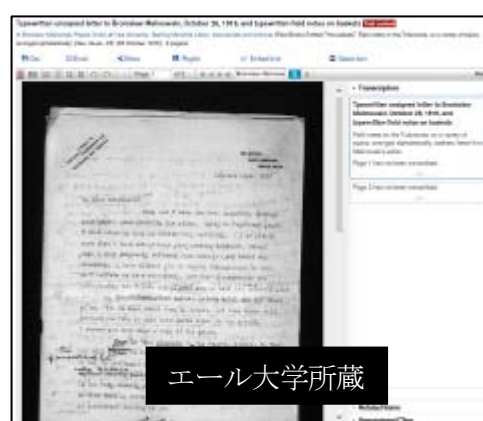
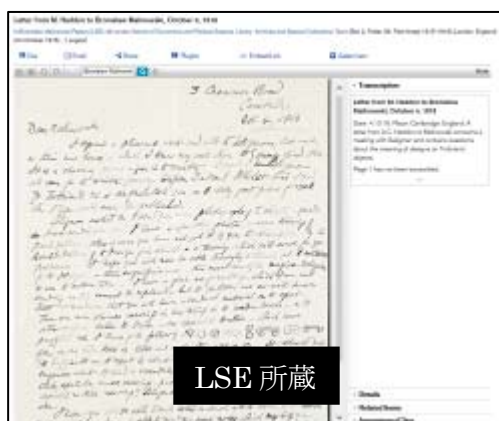
■Bronislaw Kasper Malinowski Papers

ブロニスワフ・マリノフスキはイギリスの文化人類学者です。パプアニューギニアのトロブリアン諸島での調査が最もよく知られており、1914年に初めて現地に赴き、その後4年間にわたり、数か月の滞在を繰り返しました。その調査結果に基づき、1922年に発表された”Argonauts of the Western Pacific”は、贈与の連鎖である「クラ交易」を一般的にした最初期の研究成果の1つです。現代の文化人類学の基盤を形成した研究者の一人として、参与観察の方法論を機能主義人類学へと発展させました。



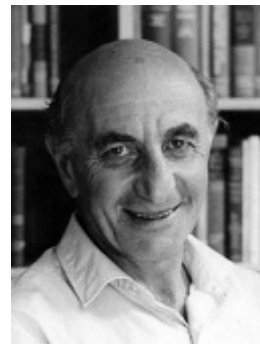
The Bronislaw Malinowski Papers (LSE:ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、エール大学所蔵)は、1915年から1918年にかけて作成された、12,000 ページ以上のフィールドノート、日誌、初期の草稿、書簡を収録します。1922年に刊行された”Argonauts of the Western Pacific”の草稿や準備メモも含まれます。

※トロブリアン諸島でのマリノフスキのフィールドノートの大半は、LSEのアーカイブに所蔵されていますが、最初の6冊を含む一部はエール大学に所蔵されています。本データベースでは、両アーカイブの資料を収録しています。



■Max Gluckman Papers

マックス・グラックマンは1940年代末に Manchester School of Anthropology を設立、定性的研究では前例のないアプローチをケース・スタディに導入し、力の差、不平等、階級闘争、イデオロギーといった民族学的分析の要素に、より広域なマルクス主義理論と紛争理論を初めて取り入れた研究者の一人です。Rhodes Livingstone Institute の理事でもあり、同機関をイギリスの主要な文化人類学研究センターに育て上げました。グラックマンは、博士論文執筆中と同機関での調査の多くをバロツェランドのロジ王国(現ザンビア)に費やしました。



Max Gluckman Papers (Royal Anthropological Institute 所蔵) は、13,000 ページ以上のフィールドノート、日誌、書簡、調査文書、Rhodes Livingstone Institute 在籍中の機関文書を収録します。1930 年代中頃から 1940 年代中頃までに行われた、初期のズールーでのフィールドワークや、後のロジでの調査に焦点を当てています。

人類学者たちが

フィールドから他の人類学者たちに書き送った書簡

研究者がフィールドで書いた書簡には、しばしば民族学的観察をより広い社会的・文化的な理論へと昇華させる最初のステップが記録されています。本コレクションには、ビクター・ターナーとマックス・グラックマン、ルース・ベネディクトとフランツ・ボアズ、ブロンスワフ・マリノフスキとチャールズ・セリグマンが交わした書簡が含まれています。



■Victor Witter Turner Papers

ビクター、エディス・ターナー夫妻が、旧北ローデシアのンデンプ族のもとで行ったフィールドワークは、彼の著作 "Schism and Continuity in an African Society: A Study of a Ndembu Village Life", "The Ritual Process: Structure and Anti-Structure and Dramas, Fields and Metaphors: Symbolic Action in Human Society" に表れる理論的研究へと導きました。彼のフィールドワークは、後に、境界性(liminality)といった概念へと発展する象徴、通過儀礼、宗教儀礼に関する理論的研究を形成するのに役立ちました。



The Victor Turner Papers (個人蔵) は、1950 年から 1954 年にかけて旧北ローデシアでのターナー夫妻の調査を通じて作成された 5,000 ページ以上のフィールドノート、フィールドでの写真、手書草稿を収録します。その後の講演原稿、記事、手書草稿も含まれます。

著作の原稿に切り貼りされたフィールドノート

ンデンプ族の少年たちの通過儀礼、儀礼の歌ムカンダの分析の中で、ビクターがフィールドノートを時系列に並べ替え、出来事の時間的な構造とその意味を分析した様子を見ることができます。



画像、録音

マーガレット・ミード、グレゴリー・ベイトソンその他の例にみられるように、文化人類学者は、複雑なもの、相互関係、文化や行動のニュアンスを記録するために、自らカメラや録音機に向いました。ビクターを初めとする文化人類学者は、手書きのメモを添えながら、儀式を記録するフィールドプロセスの一部として写真を使いました。



※今後、さらに多くの文化人類学者関連の資料を収録予定です。

タイトルリスト: 以下サイトのDownload BIBLIOGRAPHYをクリックして下さい(※タイトルリストには予定情報が含まれます)。

<http://alexanderstreet.com/products/anthropological-fieldwork-online>

◆*Anthropological Fieldwork Online* と *Open Access*◆

Alexander Street, a ProQuest Company では、より多くの研究者が世界各地に点在する貴重なアーカイブ資料を自由に利用できるよう、売上金の 10%を原資料のデジタル化と無料公開の推進のための資金とする“オープンアクセス・イニシアチブ”をスタートしました。また同社では原資料の所蔵機関に対しても、同社が支払うロイヤルティの一部を、このオープンアクセス事業に還元することを勧めています。

Anthropological Fieldwork Online では、有料データベースの一部に無料のオープンアクセス資料を組み込む新しい試みを行っています。

ヴァッサーカレッジが所蔵するルース・ベネディクト文書(Series XI: Native American Subject Files Box 79 ~ Box 96)は、2016 年末までに無料で世界中の利用者に提供される予定ですが、同社の商品 *Anthropological Fieldwork Online* の中にも組み込まれており、ご契約者は他のコンテンツと横断検索が可能です。

※無料公開コンテンツであるヴァッサーカレッジ所蔵のルース・ベネディクト文書については、*Anthropological Fieldwork Online* のご購入・ご購入料金の中には含まれておりません。有料コンテンツ部分は完成時には 2 万 5 千ページを予定しています。

■Ruth Fulton Benedict Papers

ルース・ベネディクトは、アメリカの文化人類学者です。社会や文化との関わりにおける個人の役割についてのフィールド研究に大きく貢献しました。1934 年には、文化の相対主義を表した「文化の型」“Patterns of Culture”を出版しました。

Ruth Fulton Benedict Papers(ヴァッサー大学アーカイブ所蔵)提供の約 8,000 ページの資料には、1930 年代の Pima、Serrano、Zuni など様々なフィールド記録が含まれます。

ヴァッサーカレッジ所蔵ルース・ベネディクト文書(Series XI: Native American Subject Files)

- Box 79: Mescalero Trip
- Box 80: Pima Mythology
- Box 81: Pima Mythology
- Box 82: Acoma Drawings
- Box 83: Myths Typescript
- Box 84: Myths Typescript
- Box 85: Zuni Notes
- Box 86: Dakota Sioux – Social Organization and Blackfoot Field Trip, 1939
- Box 87: Religion of the North American Indians, Notes
- Box 88: North American Indian Folklore
- Box 89: Southwest Myth Concordance
- Box 90: Southwest Myth Concordance
- Box 91: Southwest Notes
- Box 92: Concordance for Shoshone Folklore Notes
- Box 93: Concordance for Shoshone Folklore Notes
- Box 94: Concordance for Shoshone Folklore Notes
- Box 95: American Indian Mythology Field Notes
- Box 96: Serrano Field Trip Notes



詳細検索画面



ページイメージ出力画面

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

American Fiction, 1774-1920 アメリカ小説約 17,750 篇を掲載

センゲージ ラーニング株式会社

本データベースは、独立宣言の直前から第一次世界大戦直後までの約 150 年間にアメリカ人によって書かれた小説約 17,750 篇を掲載、原本を忠実に電子的に再現し、全文検索を可能にしたものです。宗主国イギリスからの政治的独立を果たしたのち、外国文学を摂取しつつ自前の文学の創作を通して文化的独立を果たし、独創的作品群を生み出した 19 世紀中葉のアメリカ文学史の黄金時代を経て、南北戦争後の再建期から世紀転換期、第一次大戦期に至るリアリズム小説、自然主義小説の全盛期まで、アメリカ人の自己認識の歴史が、フィクションを通して甦ります。



◆ライル・ライトやジェフリー・スミスの書誌に基づく一大コレクション◆

収録タイトルのうち、1900 年までに出版されたものはライル・ライト(Lyle H. Wright)の American Fiction: A Contribution Toward a Bibliography に基づいています。本書誌は、ライトが数十年に亘り 20 の図書館で行なった所蔵調査を経て完成しました。1901 年から 1910 年までに出版されたタイトルは、Library of Congress Shelf List of American Adult Fiction を典拠とし、1911 年から 1920 年までに出版されたタイトルはオハイオ州立大学図書館所蔵の William Charvat Collection of American Fiction を典拠とする Geoffrey D. Smith bibliography に基づいています。

◆アメリカ小説史の見直しを促す電子リソース◆

アメリカ文学史の正典に数えられる有名作家の作品はもとより、正統的アメリカ文学史では周縁的扱いを受けるか、言及されることが少ないマイナー作家も含む本コレクションは、同時代の小説出版事情をパノラミックに再現、アメリカ小説史の書き換えを促す電子リソースです。

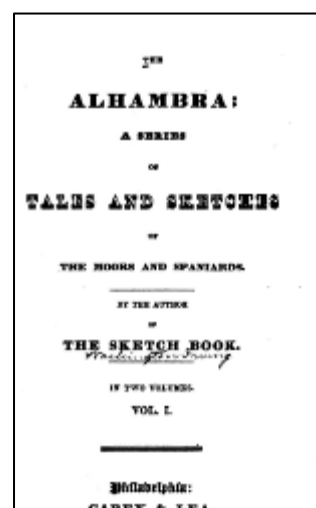
以下のような作家の作品を収録しています。

【有名作家】

- ・ アメリカ文学草創期の作家:
ワシントン・アーヴィング、ジェイムズ・フェニモア・クーパーなど
- ・ アメリカ文学黄金時代を担った作家:
ヘンリー・ワズワース・ロングフェロー、ナサニエル・ホーソーン、ハーマン・メルヴィルなど
- ・ リアリズム小説や自然主義小説の巨匠:
マーク・トウェイン、ヘンリー・ジェイムズ、ウィリアム・ディーン・ハウエルズ、ブレット・ハート、アンブローズ・ビアス、セオドア・ドライサー、ステイヴン・クレイン、ジャック・ロンドン、フランク・ノリス、シンクレア・ルイス、アプトン・シンクレアなど



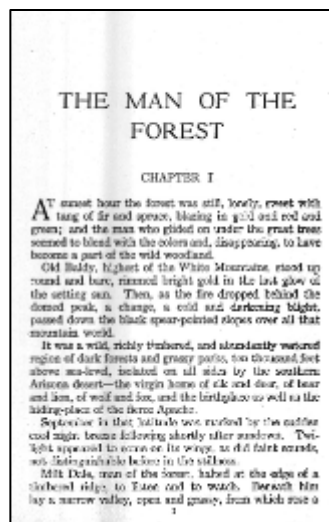
The Adventures of Tom Sawyer
Clemens, Samuel Langhorne, and
Mark Twain



The Alhambra: A Series of Tales and Sketches of the Moors and Spaniards
Irving, Washington

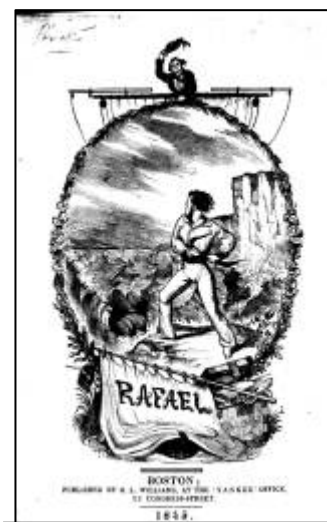
【マイナーな扱いを受けている作家】

- 19 世紀中葉に犯罪と暴力とスリルに満ちた小説で大衆の人気を博した作家:
ジョゼフ・イングラハム、エマーソン・ベネット、エドワード・ジャドソンなど
- 1850 年代に一世を風靡した感傷小説の女性作家:
エンマ・サウスワース、マリア・カミンズ、メアリー・ジェイン・ホームズ、オーガスタ・ジェイン・エヴァンズ・ウィルソン、スーザン・ワーナーなど
- 奇想譚、法螺話を文学にした作家:
オーフェス・カー、ジョゼフ・ボールドウィン、ペトロリウム・ナスビー、ジョン・フェニックスなど
- 労働者と資本家の階級的相克と、社会主義の浸透を社会的背景とした作品群を生み出した作家:
ネット・バイトライン、アン・スティーヴンスなど
- 安価なダイムノヴェルの作家:
マーベル・ファースナム、ファニー・ハースト、マリオン・ヘッジス、ゼイン・グレイ、ヘンリー・オイエン、ジョージ・クラム・クック、ジョージ・キブ・ターナー、メアリー・ロバート・ラインハートなど
- 第一次大戦期の戦争小説や反戦小説の作家:
フランク・コプリ、ポーター・エマーソン・ブラウン、H. A. メイソン、J. W. マラー、エドワード・ストラテマイヤー、フリーマン・ティルデン、ルパート・ヒューズなど



The Man of the Forest

Grey, Zane

Rafael, or, the Twice Condemned:
A Tale of Key West

Ingraham, Joseph Holt

◆思わぬ発見に誘うデータベース◆

本データベースは、収録全タイトル全ページの横断検索を可能にただけでなく、様々な書誌情報での絞り込みによる精緻な検索も実現しています。また、文書の印刷、ダウンロード、書誌生成・エクスポート機能に加えて、用語の時系列での出現頻度や検索語の関連ワードをグラフ化する視覚化機能、タグ付与、注釈、OCR テキストダウンロード機能も実装しています。アメリカ小説史の知られざる一面へと誘うデータベースです。



PDF - Current page

PDF - Selected Pages

PDF - All Pages

OCR Text - Entire Document

ページイメージ表示画面

検索語が含まれるページ、目次、イラスト付ページへのリンクは、表示中の作品内での再検索機能、文書の印刷、ダウンロード、書誌生成・エクスポート機能も搭載しています。

新装「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー(DCL)」

～初的大幅リニューアルで機能強化～

東洋経済新報社は図書館向けオンラインサービス「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」(DCL)を大幅リニューアルし、2016年10月に新画面をリリースします。ロゴやサイトデザインを一新し、検索・閲覧機能を強化、利用促進につながるコンテンツを拡充しています。同時に未収録刊行物の多くを追加し、学術研究および教育、就職活動に有用なツールとして、さらにパワーアップした DCL にご注目ください。

◆ビューア＆ランキング新設◆

PDF と TEXT 形式の誌面ファイルに加えてビューア機能を設けました。頁めくりで 1 冊を通して読むことが可能で、見開き記事の閲覧も便利になりました。また「検索ワード」、「閲覧コンテンツ」、「閲覧記事」の各ランキング上位5件を右カラムに掲出し、利用のきっかけや気付きにつながります。

◆未収録媒体を多数追加◆

大学研究者からのリクエストも多かった『地域経済総覧』、『全国大型小売店総覧』、『株価総覧』。住み良さランキングの元となる『都市データパック』に『会社財務カルテ』や『スーパーマーケット総覧』などと合わせて一斉に追加します。また就活生待望の『会社四季報業界地図』もラインナップに加わります。

◆その他◆

従来は検索対象媒体が「雑誌検索」と「会社検索」の2カテゴリーに分かれていました。今回のリニューアルでは上位に「フリー検索」を設置し、主要媒体を一括で横断検索することを可能にしました。また、管理画面が新設され、媒体別ダウンロード数などお客様ご自身が随時利用ログを確認できるようになります。



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。